

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

BNYメロン・グローバルリート通貨選択型ファンド(毎月分配型)
円コース/豪ドルコース/ブラジルリアルコース/
トルコリラコース/インドネシアルピアコース

商品分類	追加型投信/内外/不動産投信
信託期間	2011年9月16日から2021年8月20日まで
運用方針	配当等収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して積極的な運用を行うことを基本とします。
主要運用対象	ケイマン籍外国投資信託である「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド ^(注) 」を主要投資対象とします。また、国内籍証券投資信託である「BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド(適格機関投資家専用)」へも投資を行います。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(原則として毎月20日。休業日の場合は翌営業日)に、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

(注) 1 ページを参照ください。

BNYメロン・グローバルリート通貨選択型ファンド マネープールファンド

商品分類	追加型投信/内外/債券	
信託期間	2011年9月16日から2021年8月20日まで	
運用方針	安定した収益の確保を図ることを目指して運用を行うことを基本とします。	
主要運用対象	BNYメロン・グローバルリート通貨選択型ファンド マネープールファンド(ベビーファンド) BNYメロン・マネーポートフォリオ・マザーファンド(マザーファンド)	「BNYメロン・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
組入制限	ベビーファンドの組入れ上限比率 マザーファンドの組入れ上限比率	主として本邦通貨表示の公社債等および高格付の外国債券を投資対象とします。 株式への実質投資割合は、転換社債の転換請求ならびに転換社債型新株予約権付社債の行使により取得した株券等に限るものとし、信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	毎決算時(原則として、毎年2月20日および8月20日、休業日の場合は翌営業日)に、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	



BNY MELLON

BNYメロン・グローバルリート 通貨選択型ファンド

BNYメロン・グローバルリート通貨選択型ファンド(毎月分配型)
円コース/豪ドルコース/ブラジルリアルコース/
トルコリラコース/インドネシアルピアコース

運用報告書(全体版)

- 第35期(決算日:2014年9月22日)
- 第36期(決算日:2014年10月20日)
- 第37期(決算日:2014年11月20日)
- 第38期(決算日:2014年12月22日)
- 第39期(決算日:2015年1月20日)
- 第40期(決算日:2015年2月20日)

BNYメロン・グローバルリート通貨選択型ファンド マネープールファンド
第7期(決算日:2015年2月20日)

受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあざかり厚く御礼申し上げます。

さて、「BNYメロン・グローバルリート通貨選択型ファンド(毎月分配型)円コース/豪ドルコース/ブラジルリアルコース/トルコリラコース/インドネシアルピアコース」は、2014年9月22日に第35期、2014年10月20日に第36期、2014年11月20日に第37期、2014年12月22日に第38期、2015年1月20日に第39期、2015年2月20日に第40期決算を行いました。

「BNYメロン・グローバルリート通貨選択型ファンド マネープールファンド」は2015年2月20日に第7期決算を行いました。ここに、期中の運用状況を報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内1丁目8番3号
丸の内トラストタワー本館

〈運用報告書に関するお問い合わせ先〉

ドキュメンテーション部

電話番号:03-6756-4600(代表)

受付時間:営業日の9:00~17:00

ホームページ <http://www.bnymellonam.jp/>

ファンドの名称について

各ファンドについて、正式名称ではなく、下記の略称を使用することがあります。

正 式 名 称	略 称	
BNYメロン・グローバルリート通貨選択型ファンド（毎月分配型）円コース	円コース	各コース
BNYメロン・グローバルリート通貨選択型ファンド（毎月分配型）豪ドルコース	豪ドルコース	
BNYメロン・グローバルリート通貨選択型ファンド（毎月分配型）ブラジルリアルコース	ブラジルリアルコース	
BNYメロン・グローバルリート通貨選択型ファンド（毎月分配型）トルコリラコース	トルコリラコース	
BNYメロン・グローバルリート通貨選択型ファンド（毎月分配型）インドネシアルピアコース	インドネシアルピアコース	
BNYメロン・グローバルリート通貨選択型ファンド マネープールファンド	マネープールファンド	

(注) 表紙記載のファンドの仕組みについて

各コースの主要投資対象は下記の通りです。

円コース	BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（JPYクラス）
豪ドルコース	BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（AUDクラス）
ブラジルリアルコース	BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（BRLクラス）
トルコリラコース	BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（TRYクラス）
インドネシアルピアコース	BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（IDRクラス）

目 次

円コース	2
豪ドルコース	12
ブラジルリアルコース	22
トルコリラコース	32
インドネシアルピアコース	42
<BNYメロン・グローバルREIT・ファンドの状況>	52
<BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）の状況>	55
マネープールファンド	57
BNYメロン・マネーポートフォリオ・マザーファンド	63

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 率		
	円	円	円	中 率	%	百万円
11期(2012年9月20日)	11,160		30	1.1	99.5	51
12期(2012年10月22日)	11,179		30	0.4	98.8	114
13期(2012年11月20日)	10,727		30	△3.8	92.5	111
14期(2012年12月20日)	11,041		30	3.2	98.4	63
15期(2013年1月21日)	11,451		30	4.0	98.7	65
16期(2013年2月20日)	11,748		30	2.9	98.7	54
17期(2013年3月21日)	10,837		1,030	1.0	97.7	45
18期(2013年4月22日)	11,374		40	5.3	98.6	41
19期(2013年5月20日)	11,919		40	5.1	99.0	43
20期(2013年6月20日)	10,755		40	△9.4	98.8	35
21期(2013年7月22日)	10,932		40	2.0	99.1	31
22期(2013年8月20日)	10,151		40	△6.8	99.1	29
23期(2013年9月20日)	10,567		40	4.5	98.7	42
24期(2013年10月21日)	10,626		40	0.9	99.3	65
25期(2013年11月20日)	10,438		40	△1.4	98.7	52
26期(2013年12月20日)	10,113		40	△2.7	98.7	52
27期(2014年1月20日)	10,317		40	2.4	99.0	53
28期(2014年2月20日)	10,636		40	3.5	84.3	73
29期(2014年3月20日)	10,615		60	0.4	98.6	126
30期(2014年4月21日)	10,840		60	2.7	98.9	113
31期(2014年5月20日)	11,413		60	5.8	98.8	16
32期(2014年6月20日)	11,458		60	0.9	98.9	96
33期(2014年7月22日)	11,606		60	1.8	98.6	134
34期(2014年8月20日)	11,659		60	1.0	98.3	34
35期(2014年9月22日)	11,171		60	△3.7	98.9	74
36期(2014年10月20日)	10,968		60	△1.3	86.0	42
37期(2014年11月20日)	11,586		60	6.2	98.7	80
38期(2014年12月22日)	11,824		60	2.6	98.5	47
39期(2015年1月20日)	12,316		250	6.3	91.5	6
40期(2015年2月20日)	12,195		250	1.0	95.9	9

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証 組 入 比 率
			騰 落 率	騰 落 率	
第35期	(期 首) 2014年8月20日	円 11,659	% —	% —	% 98.3
	8月末	11,691	0.3		99.0
	(期 末) 2014年9月22日	11,231	△3.7		98.9
第36期	(期 首) 2014年9月22日	11,171	—		98.9
	9月末	11,025	△1.3		98.9
	(期 末) 2014年10月20日	11,028	△1.3		86.0
第37期	(期 首) 2014年10月20日	10,968	—		86.0
	10月末	11,419	4.1		98.4
	(期 末) 2014年11月20日	11,646	6.2		98.7
第38期	(期 首) 2014年11月20日	11,586	—		98.7
	11月末	11,659	0.6		98.8
	(期 末) 2014年12月22日	11,884	2.6		98.5
第39期	(期 首) 2014年12月22日	11,824	—		98.5
	12月末	11,980	1.3		98.6
	(期 末) 2015年1月20日	12,566	6.3		91.5
第40期	(期 首) 2015年1月20日	12,316	—		91.5
	1月末	12,699	3.1		98.3
	(期 末) 2015年2月20日	12,445	1.0		95.9

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定していません。

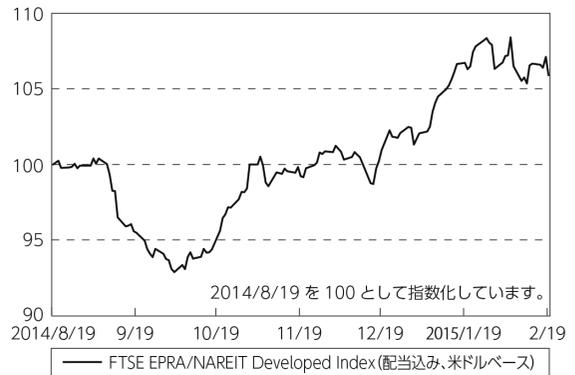
■市場概況

当作成期、グローバルリート市場は堅調な推移となりました。代表的な指数であるFTSE EPRA/NAREIT Developed Index（配当込み、米ドルベース）の当期の騰落率は5.9%となりました。

当作成期初から10月中旬にかけてグローバルリート市場は軟調に推移しました。米連邦公開市場委員会（FOMC）における政策金利予測が上方修正されて早期利上げ観測が高まったことに加え、香港での民主派による抗議デモが大規模化したことや、エボラ出血熱の感染拡大が嫌気されたことなどから投資家のリスク回避傾向が強まりました。

しかし、その後は欧州中央銀行（ECB）の量的金融緩和を受けた欧州市場が相場を牽引しました。米国市場は良好な経済指標や原油安を背景とする長期金利の低下により堅調に推移し、豪州市場では住宅許可件数が予想を上回る伸びとなったことが好感されました。日本市場でも、1月にインフレ期待の後退を受けて長期金利が上昇し一時下落する局面がありましたが、日銀の追加緩和や消費税再引き上げ延期などを背景に底堅く推移しました。

グローバルリート市場の推移



■基準価額の推移

基準価額は、当作成期初の11,659円から当作成期末には12,195円となりました。期中の分配金（税込み）累計740円を加え、基準価額は1,276円上昇し、期中騰落率（分配金再投資ベース）は11.2%となりました。

■基準価額の主な変動要因

（上昇要因）

- ・ ECBの積極的な緩和姿勢や、原油安を受けたインフレ期待の後退を受けて長期金利が低位で推移したこと

（下落要因）

- ・ 当作成期初から10月中旬にかけて米国で早期利上げ観測が高まったこと

■運用概況

運用の概要

当ファンドは、主として、「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（JPYクラス）」及び「BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）」に対する投資を行いました。下記は高位の組入を行った「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（JPYクラス）」の概況です。

国別配分

国別の投資配分は、当作成期間を通じて米国が最大となり、概ね50%強程度の配分比率となりました。次いで、日本・豪州・シンガポール・フランスなどが配分比率上位となりました。

業種別配分

業種別配分は、当作成期間を通じて商業施設・オフィス・産業用施設・ヘルスケアが上位を占めました。

なお、為替については日本円に対して為替ヘッジを行いました。

■収益分配

当作成期については、下表のとおり、当該期の収益を中心に累計740円の収益分配を行いました。分配に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2014年8月21日～ 2014年9月22日	2014年9月23日～ 2014年10月20日	2014年10月21日～ 2014年11月20日	2014年11月21日～ 2014年12月22日	2014年12月23日～ 2015年1月20日	2015年1月21日～ 2015年2月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	60 0.534%	60 0.544%	60 0.515%	60 0.505%	250 1.989%	250 2.009%
当期の収益	49	49	36	53	250	217
当期の収益以外	10	10	23	6	—	32
翌期繰越分配対象額	2,588	2,585	2,575	2,777	3,269	3,250

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

当ファンドでは、引き続き安定的な分配金原資の獲得と信託財産の中長期的な成長を目的とし、「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（JPYクラス）」を高位に組み入れた運用を行います。

「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（JPYクラス）」の実質的な運用は、センタースクエア・インベストメント・マネジメントに委託し、主として世界各国のリートに投資を行い、為替については、日本円に対して為替ヘッジを行ってまいります。

リート組入れ銘柄の選定においては、センタースクエア・インベストメント・マネジメントにおいて、投資国の経済情勢を判断した上で国別の配分比率を決定し、個別銘柄の経営方針・財務状況・バリュエーションなど多くの観点について詳細な分析を行い、ポートフォリオを構築してまいります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1万口当たりの費用明細

(2014年8月21日～2015年2月20日)

項 目	第35期～第40期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 59	% 0.506	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(19)	(0.167)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0.324)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.029	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(3)	(0.027)	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
合 計	62	0.535	
作成期間の平均基準価額は、11,745円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2014年8月21日～2015年2月20日)

投資信託証券

銘	柄	第35期～第40期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）	口 738,791	千円 740	口 968,397	千円 970
外国	BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（JPYクラス）	97,636,969	113,970	119,680,400	138,490
合 計		98,375,760	114,710	120,648,797	139,460

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2014年8月21日～2015年2月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年2月20日現在)

投資信託証券

銘	柄	第34期末		第40期末		
		口数	口数	口数	評価額	比率
BNYメロン・マネーボートフォリオ・ファンド(適格機関投資家専用)		340,205		110,599	110	1.2
BNYメロン・グローバルREIT・ファンド(JPYクラス)		29,334,399		7,290,968	8,906	94.7
合	計	29,674,604		7,401,567	9,017	
	口数・金額 銘柄数<比率>		2		2	<95.9%>

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○投資信託財産の構成

(2015年2月20日現在)

項	目	第40期末	
		評価額	比率
投資信託受益証券		9,017	93.5
コール・ローン等、その他		631	6.5
投資信託財産総額		9,648	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第35期末	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末
	2014年9月22日現在	2014年10月20日現在	2014年11月20日現在	2014年12月22日現在	2015年1月20日現在	2015年2月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	74,565,304	50,771,923	81,391,256	47,448,225	22,965,475	9,648,315
コール・ローン等	1,293,677	878,049	1,522,038	987,192	689,082	630,894
投資信託受益証券(評価額)	73,271,627	36,483,874	79,869,218	46,461,033	6,356,393	9,017,421
未収入金	—	13,410,000	—	—	15,920,000	—
(B) 負債	457,083	8,344,439	455,177	295,830	16,016,071	242,843
未払収益分配金	398,047	232,103	419,153	239,272	141,063	192,807
未払解約金	—	8,061,287	—	—	15,844,998	42,453
未払信託報酬	55,759	48,217	34,031	53,419	28,346	7,175
その他未払費用	3,277	2,832	1,993	3,139	1,664	408
(C) 純資産総額(A-B)	74,108,221	42,427,484	80,936,079	47,152,395	6,949,404	9,405,472
元本	66,341,303	38,683,979	69,858,895	39,878,683	5,642,540	7,712,303
次期繰越損益金	7,766,918	3,743,505	11,077,184	7,273,712	1,306,864	1,693,169
(D) 受益権総口数	66,341,303口	38,683,979口	69,858,895口	39,878,683口	5,642,540口	7,712,303口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,171円	10,968円	11,586円	11,824円	12,316円	12,195円

(注1) 当ファンドの第35期首元本額は30,000,712円、第35～40期中追加設定元本額は99,316,304円、第35～40期中一部解約元本額は121,604,713円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第35期1.1171円、第36期1.0968円、第37期1.1586円、第38期1.1824円、第39期1.2316円、第40期1.2195円です。

○ 損 益 の 状 況

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2014年8月21日～ 2014年9月22日	2014年9月23日～ 2014年10月20日	2014年10月21日～ 2014年11月20日	2014年11月21日～ 2014年12月22日	2014年12月23日～ 2015年1月20日	2015年1月21日～ 2015年2月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	390,230	240,853	260,689	223,972	153,432	175,166
受取配当金	390,195	240,836	260,649	223,934	153,419	175,150
受取利息	35	17	40	38	13	16
(B) 有価証券売買損益	△ 3,359,018	△ 773,753	1,141,630	1,019,717	279,552	△ 138,390
売買益	75	265,875	1,614,542	1,571,599	513,028	582
売買損	△ 3,359,093	△ 1,039,628	△ 472,912	△ 551,882	△ 233,476	△ 138,972
(C) 信託報酬等	△ 59,036	△ 51,049	△ 36,024	△ 56,558	△ 30,010	△ 7,583
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 3,027,824	△ 583,949	1,366,295	1,187,131	402,974	29,193
(E) 前期繰越損益金	380,934	△ 1,744,247	△ 1,291,752	△ 151,055	132,069	392,200
(F) 追加信託差損益金	10,811,855	6,303,804	11,421,794	6,476,908	912,884	1,464,583
(配当等相当額)	(16,860,789)	(9,831,603)	(18,058,571)	(10,278,751)	(1,450,818)	(2,139,996)
(売買損益相当額)	(△ 6,048,934)	(△ 3,527,799)	(△ 6,636,777)	(△ 3,801,843)	(△ 537,934)	(△ 675,413)
(G) 計 (D + E + F)	8,164,965	3,975,608	11,496,337	7,512,984	1,447,927	1,885,976
(H) 収益分配金	△ 398,047	△ 232,103	△ 419,153	△ 239,272	△ 141,063	△ 192,807
次期繰越損益金 (G + H)	7,766,918	3,743,505	11,077,184	7,273,712	1,306,864	1,693,169
追加信託差損益金	10,811,855	6,303,804	11,353,891	6,451,425	912,884	1,464,583
(配当等相当額)	(16,860,789)	(9,831,603)	(17,990,668)	(10,253,268)	(1,450,818)	(2,139,996)
(売買損益相当額)	(△ 6,048,934)	(△ 3,527,799)	(△ 6,636,777)	(△ 3,801,843)	(△ 537,934)	(△ 675,413)
分配準備積立金	314,081	171,568	92	822,287	393,980	366,976
繰越損益金	△ 3,359,018	△ 2,731,867	△ 276,799	—	—	△ 138,390

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

第35期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (331,194円)、信託約款に規定する収益調整金 (16,860,789円) および分配準備積立金 (380,934円) より分配対象収益は17,572,917円 (10,000口当たり2,648円) であり、うち398,047円 (10,000口当たり60円) を分配金額としております。

第36期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (189,804円)、信託約款に規定する収益調整金 (9,831,603円) および分配準備積立金 (213,867円) より分配対象収益は10,235,274円 (10,000口当たり2,645円) であり、うち232,103円 (10,000口当たり60円) を分配金額としております。

第37期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (253,992円)、信託約款に規定する収益調整金 (18,058,571円) および分配準備積立金 (97,350円) より分配対象収益は18,409,913円 (10,000口当たり2,635円) であり、うち419,153円 (10,000口当たり60円) を分配金額としております。

第38期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (213,786円)、費用控除後の有価証券売買等損益額 (822,235円)、信託約款に規定する収益調整金 (10,278,751円) および分配準備積立金 (55円) より分配対象収益は11,314,827円 (10,000口当たり2,837円) であり、うち239,272円 (10,000口当たり60円) を分配金額としております。

第39期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (142,796円)、費用控除後の有価証券売買等損益額 (260,178円)、信託約款に規定する収益調整金 (1,450,818円) および分配準備積立金 (132,069円) より分配対象収益は1,985,861円 (10,000口当たり3,519円) であり、うち141,063円 (10,000口当たり250円) を分配金額としております。

第40期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (167,583円)、信託約款に規定する収益調整金 (2,139,996円) および分配準備積立金 (392,200円) より分配対象収益は2,699,779円 (10,000口当たり3,500円) であり、うち192,807円 (10,000口当たり250円) を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
1 万口当たり分配金（税込み）	60円	60円	60円	60円	250円	250円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始します。

◇分配金を再投資する場合

お手取り分配金は、各決算日の基準価額に基づいて、税引後無手数料でみなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

●約款変更のお知らせ

2014年12月1日付にて下記の約款変更を行いました。

- ・信託契約の解約ならびに信託約款の重大な変更にかかる書面決議の成立要件に関する変更。
- ・信託契約の解約ならびに信託約款の重大な変更にかかる書面決議に反対した受益者について受益権買取請求の不適用の条項を新設。
- ・運用報告書に記載すべき事項の提供に関する条項を新設。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分 込 配 み 金 期 騰 落 中 率			投 資 信 託 券 率 組 入 比	純 資 産 額	
		税 分	込 配	み 金			期 騰 落 中 率
	円		円		%	百万円	
11期(2012年9月20日)	11,355		90		1.2	98.8	23
12期(2012年10月22日)	11,261		90		△ 0.0	96.5	17
13期(2012年11月20日)	11,091		90		△ 0.7	98.7	30
14期(2012年12月20日)	11,960		90		8.6	99.3	32
15期(2013年1月21日)	13,098		90		10.3	98.7	35
16期(2013年2月20日)	13,701		90		5.3	98.8	33
17期(2013年3月21日)	11,585		2,590		3.5	91.0	21
18期(2013年4月22日)	12,514		100		8.9	98.7	56
19期(2013年5月20日)	12,649		100		1.9	98.7	79
20期(2013年6月20日)	10,166		200		△ 18.0	98.7	69
21期(2013年7月22日)	10,398		100		3.3	98.5	83
22期(2013年8月20日)	9,414		100		△ 8.5	98.7	78
23期(2013年9月20日)	10,192		100		9.3	98.8	149
24期(2013年10月21日)	10,216		100		1.2	93.0	341
25期(2013年11月20日)	9,943		100		△ 1.7	96.8	352
26期(2013年12月20日)	9,372		100		△ 4.7	98.8	557
27期(2014年1月20日)	9,494		100		2.4	98.7	542
28期(2014年2月20日)	9,793		100		4.2	98.7	384
29期(2014年3月20日)	9,775		100		0.8	98.5	431
30期(2014年4月21日)	10,239		100		5.8	98.6	526
31期(2014年5月20日)	10,382		100		2.4	94.0	552
32期(2014年6月20日)	10,492		100		2.0	98.4	449
33期(2014年7月22日)	10,520		100		1.2	99.2	411
34期(2014年8月20日)	10,569		100		1.4	98.8	382
35期(2014年9月22日)	10,344		100		△ 1.2	98.7	295
36期(2014年10月20日)	9,681		100		△ 5.4	97.8	212
37期(2014年11月20日)	11,071		100		15.4	98.4	128
38期(2014年12月22日)	10,809		100		△ 1.5	98.8	103
39期(2015年1月20日)	11,076		200		4.3	89.7	130
40期(2015年2月20日)	10,519		200		△ 3.2	96.1	122

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

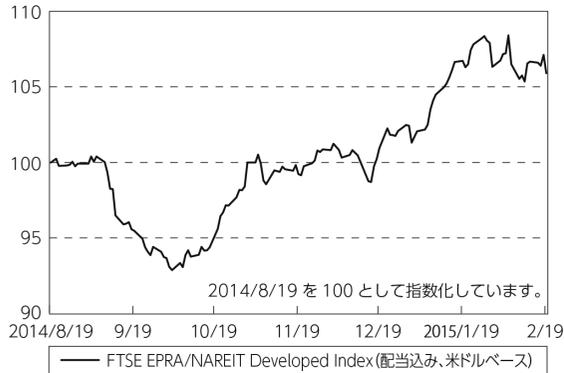
決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証 組 入 比 率
			騰 落 率	騰 落 率	
第35期	(期 首) 2014年8月20日	円 10,569	% —		% 98.8
	8月末	10,747	1.7		95.4
	(期 末) 2014年9月22日	10,444	△ 1.2		98.7
第36期	(期 首) 2014年9月22日	10,344	—		98.7
	9月末	9,998	△ 3.3		95.9
	(期 末) 2014年10月20日	9,781	△ 5.4		97.8
第37期	(期 首) 2014年10月20日	9,681	—		97.8
	10月末	10,348	6.9		99.1
	(期 末) 2014年11月20日	11,171	15.4		98.4
第38期	(期 首) 2014年11月20日	11,071	—		98.4
	11月末	11,006	△ 0.6		99.0
	(期 末) 2014年12月22日	10,909	△ 1.5		98.8
第39期	(期 首) 2014年12月22日	10,809	—		98.8
	12月末	11,040	2.1		98.8
	(期 末) 2015年1月20日	11,276	4.3		89.7
第40期	(期 首) 2015年1月20日	11,076	—		89.7
	1月末	10,893	△ 1.7		98.5
	(期 末) 2015年2月20日	10,719	△ 3.2		96.1

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定していません。

■市場概況

グローバルリート市場の推移



為替の推移（豪ドル／円）



<グローバルリート市場>

当作成期、グローバルリート市場は堅調な推移となりました。代表的な指数であるFTSE EPRA/NAREIT Developed Index（配当込み、米ドルベース）の当期の騰落率は5.9%となりました。

当作成期初から10月中旬にかけてグローバルリート市場は軟調に推移しました。米連邦公開市場委員会（FOMC）における政策金利予測が上方修正されて早期利上げ観測が高まったことに加え、香港での民主派による抗議デモが大規模化したことや、エボラ出血熱の感染拡大が嫌気されたことなどから投資家のリスク回避傾向が強まりました。

しかし、その後は欧州中央銀行（ECB）の量的金融緩和を受けた欧州市場が相場を牽引しました。米国市場は良好な経済指標や原油安を背景とする長期金利の低下により堅調に推移し、豪州市場では住宅許可件数が予想を上回る伸びとなったことが好感されました。日本市場でも、1月にインフレ期待の後退を受けて長期金利が上昇し一時下落する局面がありましたが、日銀の追加緩和や消費税再引き上げ延期などを背景に底堅く推移しました。

<外国為替市場>

当作成期の為替市場は、好調な米国経済を背景に米ドルが堅調に推移した一方、10月末に日銀が積極的な追加緩和策を発表したことなどから円安の流れが強まり、12月上旬には一時1米ドル＝120円を超える水準に達しました。しかしながら、その後は原油安の進行を受けてロシアルーブルが急落するなど金融市場がリスクオフ傾向を強めたことから、期末にかけて円高豪ドル安となりました。

■基準価額の推移

基準価額は、当作成期初の10,569円から当作成期末には10,519円となりました。期中の分配金（税込み）累計800円を加え、基準価額は750円上昇し、期中騰落率（分配金再投資ベース）は7.3%となりました。

■基準価額の主な変動要因

（上昇要因）

- ・ ECBの積極的な緩和姿勢や、原油安を受けたインフレ期待の後退を受けて長期金利が低位で推移したこと
- ・ 2014年11月、日銀の積極的な追加緩和策を受けて円安が進行したこと

（下落要因）

- ・ 当作成期初から10月中旬にかけて米国で早期利上げ観測が高まったこと
- ・ 2014年12月から当作成期末にかけて投資家がリスク回避姿勢を強め、豪ドルに対して円高が進行したこと

■運用概況

運用の概要

当ファンドは、主として、「B N Yメロン・グローバルREIT・ファンド（AUDクラス）」及び「B N Yメロン・マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）」に対する投資を行いました。下記は高位の組入を行った「B N Yメロン・グローバルREIT・ファンド（AUDクラス）」の概況です。

国別配分

国別の投資配分は、当作成期間を通じて米国が最大となり、概ね50%強程度の配分比率となりました。次いで、日本・豪州・シンガポール・フランスなどが配分比率上位となりました。

業種別配分

業種別配分は、当作成期間を通じて商業施設・オフィス・産業用施設・ヘルスケアが上位を占めました。

なお、為替については、豪ドル買いの取引を行いました。

■収益分配

当作成期については、下表のとおり、当該期の収益を中心に累計800円の収益分配を行いました。分配に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2014年8月21日～ 2014年9月22日	2014年9月23日～ 2014年10月20日	2014年10月21日～ 2014年11月20日	2014年11月21日～ 2014年12月22日	2014年12月23日～ 2015年1月20日	2015年1月21日～ 2015年2月20日
当期分配金	100	100	100	100	200	200
（対基準価額比率）	0.957%	1.022%	0.895%	0.917%	1.774%	1.866%
当期の収益	79	84	100	78	200	167
当期の収益以外	20	15	—	21	—	32
翌期繰越分配対象額	4,731	4,722	5,314	5,296	5,324	5,295

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

当ファンドでは、引き続き安定的な分配金原資の獲得と信託財産の中長期的な成長を目的とし、「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（AUDクラス）」を高位に組み入れた運用を行います。

「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（AUDクラス）」の実質的な運用は、センタースクエア・インベストメント・マネジメントに委託し、主として世界各国のリートに投資を行い、為替については、豪ドル買いの取引を行ってまいります。

リート組入れ銘柄の選定においては、センタースクエア・インベストメント・マネジメントにおいて、投資国の経済情勢を判断した上で国別の配分比率を決定し、個別銘柄の経営方針・財務状況・バリュエーションなど多くの観点について詳細な分析を行い、ポートフォリオを構築してまいります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年 8 月21日～2015年 2 月20日)

項 目	第35期～第40期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(17)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(35)	(0.325)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	23	0.213	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(20)	(0.187)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(3)	(0.026)	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
合 計	77	0.719	
作成期間の平均基準価額は、10,672円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2014年 8 月21日～2015年 2 月20日)

投資信託証券

銘 柄	第35期～第40期				
	買 付		売 付		
	口 数	金 額	口 数	金 額	
国内	口	千円	口	千円	
国内	BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド (適格機関投資家専用)	848,643	850	2,136,388	2,140
外国	BNYメロン・グローバルREIT・ファンド (AUDクラス)	62,837,758	68,980	304,087,142	327,690
合 計		63,686,401	69,830	306,223,530	329,830

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2014年8月21日～2015年2月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年2月20日現在)

投資信託証券

銘	柄	第34期末		第40期末	
		口数	口数	評価額	比率
BNYメロン・マネーボートフォリオ・ファンド (適格機関投資家専用)		3,165,855	1,878,110	1,881	1.5
BNYメロン・グローバルREIT・ファンド (AUDクラス)		347,731,478	106,482,094	115,756	94.6
合	計	350,897,333	108,360,204	117,637	
	口数・金額 銘柄数<比率>	2	2	<96.1%>	

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○投資信託財産の構成

(2015年2月20日現在)

項	目	第40期末	
		評価額	比率
投資信託受益証券		117,637	94.2
コール・ローン等、その他		7,305	5.8
投資信託財産総額		124,942	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第35期末	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末
	2014年9月22日現在	2014年10月20日現在	2014年11月20日現在	2014年12月22日現在	2015年1月20日現在	2015年2月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	304,513,204	249,209,630	155,734,770	105,732,351	137,387,417	124,942,533
コール・ローン等	6,428,842	20,000,735	13,698,715	2,150,951	19,169,804	7,304,733
投資信託受益証券(評価額)	291,854,359	208,038,885	126,246,049	101,761,400	116,757,606	117,637,798
未収入金	6,230,000	21,170,000	15,790,000	1,820,000	1,460,000	—
未収利息	3	10	6	—	7	2
(B) 負債	8,817,900	36,404,640	27,489,696	2,687,649	7,173,868	2,515,494
未払収益分配金	2,858,710	2,198,208	1,158,420	953,345	2,351,167	2,327,794
未払解約金	5,573,036	33,931,399	26,098,966	1,565,764	4,663,411	10,699
未払信託報酬	306,677	201,223	160,683	100,165	91,386	108,196
その他未払費用	79,477	73,810	71,627	68,375	67,904	68,805
(C) 純資産総額(A-B)	295,695,304	212,804,990	128,245,074	103,044,702	130,213,549	122,427,039
元本	285,871,037	219,820,889	115,842,022	95,334,519	117,558,397	116,389,717
次期繰越損益金	9,824,267	△ 7,015,899	12,403,052	7,710,183	12,655,152	6,037,322
(D) 受益権総口数	285,871,037口	219,820,889口	115,842,022口	95,334,519口	117,558,397口	116,389,717口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,344円	9,681円	11,071円	10,809円	11,076円	10,519円

(注1) 当ファンドの第35期首元本額は362,373,282円、第35～40期中追加設定元本額は104,845,114円、第35～40期中一部解約元本額は350,828,679円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第35期1.0344円、第36期0.9681円、第37期1.1071円、第38期1.0809円、第39期1.1076円、第40期1.0519円です。

○損益の状況

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2014年8月21日～ 2014年9月22日	2014年9月23日～ 2014年10月20日	2014年10月21日～ 2014年11月20日	2014年11月21日～ 2014年12月22日	2014年12月23日～ 2015年1月20日	2015年1月21日～ 2015年2月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	2,666,347	2,126,789	1,110,986	914,396	1,981,778	2,121,333
受取配当金	2,666,146	2,126,683	1,110,901	914,371	1,981,760	2,121,284
受取利息	201	106	85	25	18	49
(B) 有価証券売買損益	△ 6,089,224	△13,670,528	15,926,839	△ 2,359,003	2,647,153	△ 5,808,265
売買益	2,147,483	1,965,741	23,862,145	295,901	3,462,528	332,782
売買損	△ 8,236,707	△15,636,269	△ 7,935,306	△ 2,654,904	△ 815,375	△ 6,141,047
(C) 信託報酬等	△ 386,154	△ 275,033	△ 232,310	△ 168,540	△ 159,290	△ 177,001
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 3,809,031	△11,818,772	16,805,515	△ 1,613,147	4,469,641	△ 3,863,933
(E) 前期繰越損益金	13,725,273	5,176,012	△ 4,287,116	9,173,354	5,796,349	7,008,884
(F) 追加信託差損益金	2,766,735	1,825,069	1,043,073	1,103,321	4,740,329	5,220,165
(配当等相当額)	(122,126,519)	(94,615,595)	(50,198,549)	(41,529,138)	(54,677,099)	(55,010,350)
(売買損益相当額)	(△119,359,784)	(△92,790,526)	(△49,155,476)	(△40,425,817)	(△49,936,770)	(△49,790,185)
(G) 計(D+E+F)	12,682,977	△ 4,817,691	13,561,472	8,663,528	15,006,319	8,365,116
(H) 収益分配金	△ 2,858,710	△ 2,198,208	△ 1,158,420	△ 953,345	△ 2,351,167	△ 2,327,794
次期繰越損益金(G+H)	9,824,267	△ 7,015,899	12,403,052	7,710,183	12,655,152	6,037,322
追加信託差損益金	2,766,735	1,825,069	1,043,073	1,103,321	4,740,329	5,220,165
(配当等相当額)	(122,126,519)	(94,615,595)	(50,198,549)	(41,529,138)	(54,677,099)	(55,010,350)
(売買損益相当額)	(△119,359,784)	(△92,790,526)	(△49,155,476)	(△40,425,817)	(△49,936,770)	(△49,790,185)
分配準備積立金	13,146,756	9,188,337	11,359,979	8,965,865	7,914,823	6,625,422
繰越損益金	△ 6,089,224	△18,029,305	—	△ 2,359,003	—	△ 5,808,265

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

第35期計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,280,193円)、信託約款に規定する収益調整金(122,126,519円)および分配準備積立金(13,725,273円)より分配対象収益は138,131,985円(10,000口当たり4,831円)であり、うち2,858,710円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。

第36期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,851,756円)、信託約款に規定する収益調整金(94,615,595円)および分配準備積立金(9,534,789円)より分配対象収益は106,002,140円(10,000口当たり4,822円)であり、うち2,198,208円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。

第37期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,095,839円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(6,866,308円)、信託約款に規定する収益調整金(50,198,549円)および分配準備積立金(4,556,252円)より分配対象収益は62,716,948円(10,000口当たり5,414円)であり、うち1,158,420円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。

第38期計算期間末における費用控除後の配当等収益(745,856円)、信託約款に規定する収益調整金(41,529,138円)および分配準備積立金(9,173,354円)より分配対象収益は51,448,348円(10,000口当たり5,396円)であり、うち953,345円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。

第39期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,913,586円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(494,235円)、信託約款に規定する収益調整金(54,677,099円)および分配準備積立金(7,858,169円)より分配対象収益は64,943,089円(10,000口当たり5,524円)であり、うち2,351,167円(10,000口当たり200円)を分配金額としております。

第40期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,944,332円)、信託約款に規定する収益調整金(55,010,350円)および分配準備積立金(7,008,884円)より分配対象収益は63,963,566円(10,000口当たり5,495円)であり、うち2,327,794円(10,000口当たり200円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
1 万口当たり分配金（税込み）	100円	100円	100円	100円	200円	200円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始します。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日の基準価額に基づいて、税引後無手数料でみなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

●約款変更のお知らせ

2014年12月1日付にて下記の約款変更を行いました。

- ・信託契約の解約ならびに信託約款の重大な変更にかかる書面決議の成立要件に関する変更。
- ・信託契約の解約ならびに信託約款の重大な変更にかかる書面決議に反対した受益者について受益権買取請求の不適用の条項を新設。
- ・運用報告書に記載すべき事項の提供に関する条項を新設。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分 込 配 み 金 期 騰 落 中 率			投 資 信 託 券 率 組 入 比	純 資 産 額	
		税 分	込 配	み 金			期 騰 落
	円		円		%	百万円	
11期(2012年9月20日)	9,535		120		0.8	96.7	113
12期(2012年10月22日)	9,476		120		0.6	98.7	358
13期(2012年11月20日)	8,953		120	△	4.3	98.6	447
14期(2012年12月20日)	9,481		120		7.2	95.8	452
15期(2013年1月21日)	10,653		120		13.6	98.7	476
16期(2013年2月20日)	11,650		120		10.5	89.7	486
17期(2013年3月21日)	11,324		620		2.5	95.4	396
18期(2013年4月22日)	12,128		140		8.3	98.9	252
19期(2013年5月20日)	12,932		140		7.8	98.5	306
20期(2013年6月20日)	10,037		140	△	21.3	97.2	212
21期(2013年7月22日)	10,403		140		5.0	98.7	210
22期(2013年8月20日)	8,695		140	△	15.1	98.7	176
23期(2013年9月20日)	9,930		140		15.8	98.8	208
24期(2013年10月21日)	9,964		140		1.8	98.8	367
25期(2013年11月20日)	9,499		140	△	3.3	98.8	521
26期(2013年12月20日)	9,270		140	△	0.9	98.9	726
27期(2014年1月20日)	9,318		140		2.0	96.1	667
28期(2014年2月20日)	9,176		140	△	0.0	98.9	843
29期(2014年3月20日)	9,350		140		3.4	96.8	613
30期(2014年4月21日)	9,859		140		6.9	98.5	300
31期(2014年5月20日)	10,072		140		3.6	98.8	322
32期(2014年6月20日)	10,081		140		1.5	99.2	224
33期(2014年7月22日)	10,019		140		0.8	99.0	202
34期(2014年8月20日)	10,167		140		2.9	98.9	204
35期(2014年9月22日)	9,892		140	△	1.3	98.6	164
36期(2014年10月20日)	9,186		140	△	5.7	98.8	148
37期(2014年11月20日)	10,210		140		12.7	98.9	159
38期(2014年12月22日)	10,286		140		2.1	98.9	156
39期(2015年1月20日)	10,578		140		4.2	98.6	169
40期(2015年2月20日)	10,033		140	△	3.8	95.6	152

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

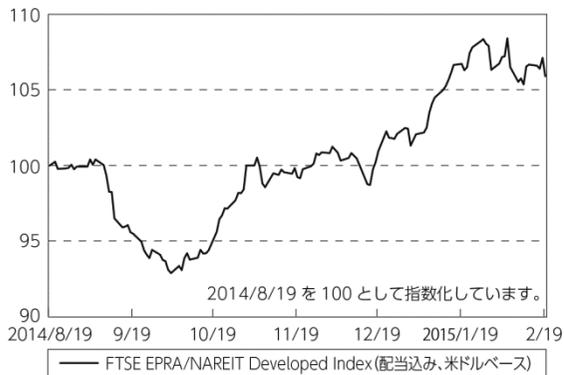
決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証 組 入 比 率
			騰 落 率	騰 落 率	
第35期	(期 首) 2014年8月20日	円 10,167	% —	% 98.9	
	8月末	10,363	1.9	94.3	
	(期 末) 2014年9月22日	10,032	△ 1.3	98.6	
第36期	(期 首) 2014年9月22日	9,892	—	98.6	
	9月末	9,621	△ 2.7	99.0	
	(期 末) 2014年10月20日	9,326	△ 5.7	98.8	
第37期	(期 首) 2014年10月20日	9,186	—	98.8	
	10月末	9,865	7.4	98.9	
	(期 末) 2014年11月20日	10,350	12.7	98.9	
第38期	(期 首) 2014年11月20日	10,210	—	98.9	
	11月末	10,533	3.2	98.1	
	(期 末) 2014年12月22日	10,426	2.1	98.9	
第39期	(期 首) 2014年12月22日	10,286	—	98.9	
	12月末	10,486	1.9	98.8	
	(期 末) 2015年1月20日	10,718	4.2	98.6	
第40期	(期 首) 2015年1月20日	10,578	—	98.6	
	1月末	11,206	5.9	98.7	
	(期 末) 2015年2月20日	10,173	△ 3.8	95.6	

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

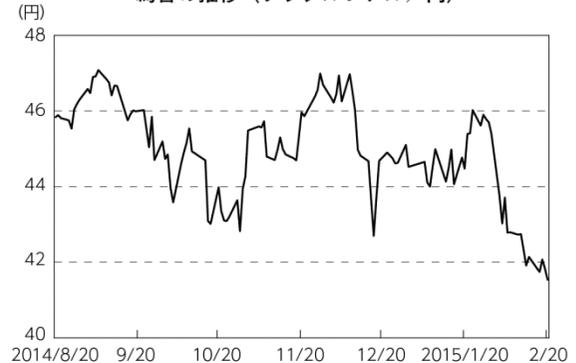
(注2) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

■市場概況

グローバルリート市場の推移



為替の推移（ブラジルリアル／円）



<グローバルリート市場>

当作成期、グローバルリート市場は堅調な推移となりました。代表的な指数であるFTSE EPRA/NAREIT Developed Index（配当込み、米ドルベース）の当期の騰落率は5.9%となりました。

当作成期初から10月中旬にかけてグローバルリート市場は軟調に推移しました。米連邦公開市場委員会（FOMC）における政策金利予測が上方修正されて早期利上げ観測が高まったことに加え、香港での民主派による抗議デモが大規模化したことや、エボラ出血熱の感染拡大が嫌気されたことなどから投資家のリスク回避傾向が強まりました。

しかし、その後は欧州中央銀行（ECB）の量的金融緩和を受けた欧州市場が相場を牽引しました。米国市場は良好な経済指標や原油安を背景とする長期金利の低下により堅調に推移し、豪州市場では住宅許可件数が予想を上回る伸びとなったことが好感されました。日本市場でも、1月にインフレ期待の後退を受けて長期金利が上昇し一時下落する局面がありましたが、日銀の追加緩和や消費税再引き上げ延期などを背景に底堅く推移しました。

<外国為替市場>

当作成期の為替市場は、好調な米国経済を背景に米ドルが堅調に推移した一方、10月末に日銀が積極的な追加緩和策を発表したことなどから円安の流れが強まり、12月上旬には一時1米ドル＝120円を超える水準に達しました。しかしながら、その後は原油安の進行を受けてロシアルーブルが急落するなど金融市場がリスクオフ傾向を強めたことから、期末にかけて円高ブラジルリアル安となりました。

■基準価額の推移

基準価額は、当作成期初の10,167円から当作成期末には10,033円となりました。期中の分配金（税込み）累計840円を加え、基準価額は706円上昇し、期中騰落率（分配金再投資ベース）は7.3%となりました。

■基準価額の主な変動要因

（上昇要因）

- ・ ECBの積極的な緩和姿勢や、原油安を受けたインフレ期待の後退を受けて長期金利が低位で推移したこと
- ・ 2014年11月、日銀の積極的な追加緩和策を受けて円安が進行したこと

（下落要因）

- ・ 当作成期初から10月中旬にかけて米国で早期利上げ観測が高まったこと
- ・ 2014年12月から当作成期末にかけて投資家がリスク回避姿勢を強め、ブラジルリアルに対して円高が進化したこと

■運用概況

運用の概要

当ファンドは、主として、「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（BRLクラス）」及び「BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）」に対する投資を行いました。下記は高位の組入を行った「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（BRLクラス）」の概況です。

国別配分

国別の投資配分は、当作成期間を通じて米国が最大となり、概ね50%強程度の配分比率となりました。次いで、日本・豪州・シンガポール・フランスなどが配分比率上位となりました。

業種別配分

業種別配分は、当作成期間を通じて商業施設・オフィス・産業用施設・ヘルスケアが上位を占めました。

なお、為替については、ブラジルリアル買いの取引を行いました。

■収益分配

当作成期については、下表のとおり、当該期の収益を中心に累計840円の収益分配を行いました。分配に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2014年8月21日～ 2014年9月22日	2014年9月23日～ 2014年10月20日	2014年10月21日～ 2014年11月20日	2014年11月21日～ 2014年12月22日	2014年12月23日～ 2015年1月20日	2015年1月21日～ 2015年2月20日
当期分配金	140	140	140	140	140	140
（対基準価額比率）	1.396%	1.501%	1.353%	1.343%	1.306%	1.376%
当期の収益	121	123	140	140	140	120
当期の収益以外	18	16	—	—	—	19
翌期繰越分配対象額	4,921	4,905	4,984	5,000	5,278	5,260

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

当ファンドでは、引き続き安定的な分配金原資の獲得と信託財産の中長期的な成長を目的とし、「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（BRLクラス）」を高位に組み入れた運用を行います。

「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（BRLクラス）」の実質的な運用は、センタースクエア・インベストメント・マネジメントに委託し、主として世界各国のリートに投資を行い、為替については、ブラジルリアル買いの取引を行ってまいります。

リート組入れ銘柄の選定においては、センタースクエア・インベストメント・マネジメントにおいて、投資国の経済情勢を判断した上で国別の配分比率を決定し、個別銘柄の経営方針・財務状況・バリュエーションなど多くの観点について詳細な分析を行い、ポートフォリオを構築してまいります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年 8 月21日～2015年 2 月20日)

項 目	第35期～第40期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(17)	(0.168)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0.322)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	25	0.243	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(22)	(0.217)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(3)	(0.026)	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
合 計	77	0.749	
作成期間の平均基準価額は、10,345円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2014年 8 月21日～2015年 2 月20日)

投資信託証券

銘 柄	第35期～第40期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
国内	口	千円	口	千円
国内	—	—	549,075	550
外国	43,960,549	46,710	97,468,716	101,010
合 計	43,960,549	46,710	98,017,791	101,560

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2014年8月21日～2015年2月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年2月20日現在)

投資信託証券

銘	柄	第34期末		第40期末		
		口数	口数	評価額	比率	
BNYメロン・マネーボートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）		1,969,172	1,420,097	1,422	0.9	
BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（BRLクラス）		195,490,885	141,982,718	144,808	94.7	
合	計	口数・金額	197,460,057	143,402,815	146,230	
		銘柄数<比率>	2	2	<95.6%>	

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○投資信託財産の構成

(2015年2月20日現在)

項	目	第40期末	
		評価額	比率
投資信託受益証券		千円	%
		146,230	92.2
コール・ローン等、その他		12,428	7.8
投資信託財産総額		158,658	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第35期末	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末
	2014年9月22日現在	2014年10月20日現在	2014年11月20日現在	2014年12月22日現在	2015年1月20日現在	2015年2月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	167,915,294	151,291,984	162,092,396	177,784,674	172,462,394	158,658,062
コール・ローン等	4,471,231	4,365,605	4,173,496	18,597,643	4,909,043	4,447,518
投資信託受益証券(評価額)	162,154,061	146,926,377	157,918,899	154,647,025	167,553,350	146,230,543
未収入金	1,290,000	—	—	4,540,000	—	7,980,000
未収利息	2	2	1	6	1	1
(B) 負債	3,490,506	2,506,804	2,392,021	21,448,468	2,588,289	5,769,754
未払収益分配金	2,327,130	2,267,653	2,189,867	2,127,775	2,248,237	2,133,418
未払解約金	917,314	48,791	—	19,101,714	129,516	3,421,268
未払信託報酬	173,733	120,870	132,065	148,029	140,016	144,320
その他未払費用	72,329	69,490	70,089	70,950	70,520	70,748
(C) 純資産総額(A-B)	164,424,788	148,785,180	159,700,375	156,336,206	169,874,105	152,888,308
元本	166,223,636	161,975,215	156,419,129	151,983,990	160,588,359	152,387,057
次期繰越損益金	△ 1,798,848	△ 13,190,035	3,281,246	4,352,216	9,285,746	501,251
(D) 受益権総口数	166,223,636口	161,975,215口	156,419,129口	151,983,990口	160,588,359口	152,387,057口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,892円	9,186円	10,210円	10,286円	10,578円	10,033円

(注1) 当ファンドの第35期首元本額は201,202,009円、第35～40期中追加設定元本額は53,397,832円、第35～40期中一部解約元本額は102,212,784円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第35期0.9892円、第36期0.9186円、第37期1.0210円、第38期1.0286円、第39期1.0578円、第40期1.0033円です。

○損益の状況

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2014年8月21日～ 2014年9月22日	2014年9月23日～ 2014年10月20日	2014年10月21日～ 2014年11月20日	2014年11月21日～ 2014年12月22日	2014年12月23日～ 2015年1月20日	2015年1月21日～ 2015年2月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	2,257,911	2,195,819	2,117,985	2,076,786	2,163,736	2,057,818
受取配当金	2,257,853	2,195,799	2,117,966	2,076,748	2,163,696	2,057,802
受取利息	58	20	19	38	40	16
(B) 有価証券売買損益	△ 4,310,826	△11,168,817	16,153,579	473,083	4,723,486	△ 8,173,709
売買益	973,560	171,564	17,226,972	2,068,872	7,141,004	163,539
売買損	△ 5,284,386	△11,340,381	△ 1,073,393	△ 1,595,789	△ 2,417,518	△ 8,337,248
(C) 信託報酬等	△ 246,062	△ 190,360	△ 202,154	△ 218,979	△ 210,536	△ 215,068
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,298,977	△ 9,163,358	18,069,410	2,330,890	6,676,686	△ 6,330,959
(E) 前期繰越損益金	7,765,766	3,049,910	△ 7,995,877	6,702,014	6,313,815	10,006,764
(F) 追加信託差損益金	△ 4,938,507	△ 4,808,934	△ 4,602,420	△ 2,552,913	△ 1,456,518	△ 1,041,136
(配当等相当額)	(74,351,155)	(72,502,501)	(70,090,559)	(69,098,918)	(74,025,310)	(70,448,505)
(売買損益相当額)	(△79,289,662)	(△77,311,435)	(△74,692,979)	(△71,651,831)	(△75,481,828)	(△71,489,641)
(G) 計(D+E+F)	528,282	△10,922,382	5,471,113	6,479,991	11,533,983	2,634,669
(H) 収益分配金	△ 2,327,130	△ 2,267,653	△ 2,189,867	△ 2,127,775	△ 2,248,237	△ 2,133,418
次期繰越損益金(G+H)	△ 1,798,848	△13,190,035	3,281,246	4,352,216	9,285,746	501,251
追加信託差損益金	△ 4,938,507	△ 4,808,934	△ 4,602,420	△ 2,552,913	△ 1,456,518	△ 1,041,136
(配当等相当額)	(74,351,155)	(72,502,501)	(70,090,559)	(69,098,918)	(74,025,310)	(70,448,505)
(売買損益相当額)	(△79,289,662)	(△77,311,435)	(△74,692,979)	(△71,651,831)	(△75,481,828)	(△71,489,641)
分配準備積立金	7,450,485	6,962,336	7,883,666	6,905,129	10,742,264	9,716,096
繰越損益金	△ 4,310,826	△15,343,437	—	—	—	△ 8,173,709

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

第35期計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,011,849円)、信託約款に規定する収益調整金(74,351,155円)および分配準備積立金(7,765,766円)より分配対象収益は84,128,770円(10,000口当たり5,061円)であり、うち2,327,130円(10,000口当たり140円)を分配金額としております。

第36期計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,005,459円)、信託約款に規定する収益調整金(72,502,501円)および分配準備積立金(7,224,530円)より分配対象収益は81,732,490円(10,000口当たり5,045円)であり、うち2,267,653円(10,000口当たり140円)を分配金額としております。

第37期計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,094,555円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(1,322,458円)、信託約款に規定する収益調整金(70,090,559円)および分配準備積立金(6,656,520円)より分配対象収益は80,164,092円(10,000口当たり5,124円)であり、うち2,189,867円(10,000口当たり140円)を分配金額としております。

第38期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,898,428円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(432,462円)、信託約款に規定する収益調整金(69,098,918円)および分配準備積立金(6,702,014円)より分配対象収益は78,131,822円(10,000口当たり5,140円)であり、うち2,127,775円(10,000口当たり140円)を分配金額としております。

第39期計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,097,586円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(4,579,100円)、信託約款に規定する収益調整金(74,025,310円)および分配準備積立金(6,313,815円)より分配対象収益は87,015,811円(10,000口当たり5,418円)であり、うち2,248,237円(10,000口当たり140円)を分配金額としております。

第40期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,842,750円)、信託約款に規定する収益調整金(70,448,505円)および分配準備積立金(10,006,764円)より分配対象収益は82,298,019円(10,000口当たり5,400円)であり、うち2,133,418円(10,000口当たり140円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
1 万口当たり分配金（税込み）	140円	140円	140円	140円	140円	140円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始します。

◇分配金を再投資する場合

お手取り分配金は、各決算日の基準価額に基づいて、税引後無手数料でみなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

●約款変更のお知らせ

2014年12月1日付にて下記の約款変更を行いました。

- ・信託契約の解約ならびに信託約款の重大な変更にかかる書面決議の成立要件に関する変更。
- ・信託契約の解約ならびに信託約款の重大な変更にかかる書面決議に反対した受益者について受益権買取請求の不適用の条項を新設。
- ・運用報告書に記載すべき事項の提供に関する条項を新設。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	準 価 額			投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分	み 騰 落	中 率		
	円	円	騰 落	%	%	百万円
11期(2012年9月20日)	11,516	90		1.7	99.1	17
12期(2012年10月22日)	11,495	90		0.6	98.4	17
13期(2012年11月20日)	11,230	90	△	1.5	95.4	13
14期(2012年12月20日)	12,088	90		8.4	98.5	14
15期(2013年1月21日)	13,468	90		12.2	98.1	17
16期(2013年2月20日)	14,171	90		5.9	98.6	24
17期(2013年3月21日)	11,254	3,090		1.2	99.1	20
18期(2013年4月22日)	12,247	120		9.9	98.7	110
19期(2013年5月20日)	12,874	120		6.1	98.6	171
20期(2013年6月20日)	10,284	300	△	17.8	98.4	200
21期(2013年7月22日)	10,695	120		5.2	98.4	208
22期(2013年8月20日)	9,503	120	△	10.0	99.2	254
23期(2013年9月20日)	9,932	120		5.8	98.6	320
24期(2013年10月21日)	9,810	120	△	0.0	98.6	363
25期(2013年11月20日)	9,446	120	△	2.5	98.6	368
26期(2013年12月20日)	9,388	120		0.7	99.1	619
27期(2014年1月20日)	8,894	120	△	4.0	98.6	464
28期(2014年2月20日)	8,893	120		1.3	95.3	457
29期(2014年3月20日)	8,693	120	△	0.9	98.4	588
30期(2014年4月21日)	9,314	120		8.5	98.4	379
31期(2014年5月20日)	9,560	120		3.9	98.8	272
32期(2014年6月20日)	9,449	120		0.1	98.9	266
33期(2014年7月22日)	9,540	120		2.2	98.8	244
34期(2014年8月20日)	9,437	120		0.2	94.2	242
35期(2014年9月22日)	9,367	120		0.5	98.3	175
36期(2014年10月20日)	8,817	120	△	4.6	99.3	124
37期(2014年11月20日)	10,367	120		18.9	98.8	130
38期(2014年12月22日)	10,246	120	△	0.0	97.2	118
39期(2015年1月20日)	10,579	120		4.4	98.7	110
40期(2015年2月20日)	10,121	120	△	3.2	95.9	102

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

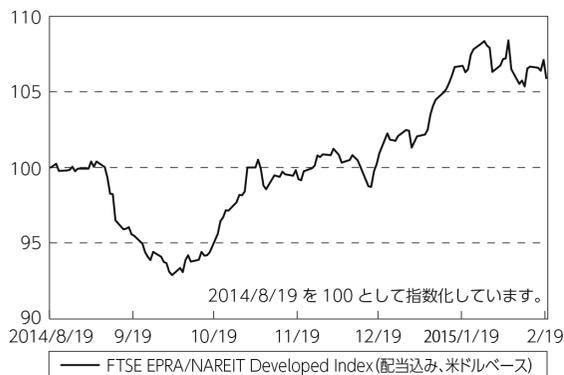
決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証 組 入 比 率
			騰 落 率	騰 落 率	
第35期	(期 首) 2014年8月20日	円 9,437	% —	% 94.2	
	8月末	9,600	1.7	94.9	
	(期 末) 2014年9月22日	9,487	0.5	98.3	
第36期	(期 首) 2014年9月22日	9,367	—	98.3	
	9月末	9,070	△ 3.2	98.3	
	(期 末) 2014年10月20日	8,937	△ 4.6	99.3	
第37期	(期 首) 2014年10月20日	8,817	—	99.3	
	10月末	9,582	8.7	98.5	
	(期 末) 2014年11月20日	10,487	18.9	98.8	
第38期	(期 首) 2014年11月20日	10,367	—	98.8	
	11月末	10,477	1.1	99.0	
	(期 末) 2014年12月22日	10,366	△ 0.0	97.2	
第39期	(期 首) 2014年12月22日	10,246	—	97.2	
	12月末	10,501	2.5	98.9	
	(期 末) 2015年1月20日	10,699	4.4	98.7	
第40期	(期 首) 2015年1月20日	10,579	—	98.7	
	1月末	10,547	△ 0.3	98.7	
	(期 末) 2015年2月20日	10,241	△ 3.2	95.9	

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

■市場概況

グローバルリート市場の推移



為替の推移 (トルコリラ/円)



<グローバルリート市場>

当作成期、グローバルリート市場は堅調な推移となりました。代表的な指数であるFTSE EPRA/NAREIT Developed Index (配当込み、米ドルベース)の当期の騰落率は5.9%となりました。

当作成期初から10月中旬にかけてグローバルリート市場は軟調に推移しました。米連邦公開市場委員会(FOMC)における政策金利予測が上方修正されて早期利上げ観測が高まったことに加え、香港での民主派による抗議デモが大規模化したことや、エボラ出血熱の感染拡大が嫌気されたことなどから投資家のリスク回避傾向が強まりました。

しかし、その後は欧州中央銀行(ECB)の量的金融緩和を受けた欧州市場が相場を牽引しました。米国市場は良好な経済指標や原油安を背景とする長期金利の低下により堅調に推移し、豪州市場では住宅許可件数が予想を上回る伸びとなったことが好感されました。日本市場でも、1月にインフレ期待の後退を受けて長期金利が上昇し一時下落する局面がありましたが、日銀の追加緩和や消費税再引き上げ延期などを背景に底堅く推移しました。

<外国為替市場>

当作成期の為替市場は、好調な米国経済を背景に米ドルが堅調に推移した一方、10月末に日銀が積極的な追加緩和策を発表したことなどから円安の流れが強まり、12月上旬には一時1米ドル=120円を超える水準に達しました。しかしながら、その後は原油安の進行を受けてロシアルーブルが急落するなど金融市場がリスクオフ傾向を強めたことから、期末にかけて円高トルコリラ安となりました。

■基準価額の推移

基準価額は、当作成期初の9,437円から当作成期末には10,121円となりました。期中の分配金(税込み)累計720円を加え、基準価額は1,404円上昇し、期中騰落率(分配金再投資ベース)は15.3%となりました。

■基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・ ECBの積極的な緩和姿勢や、原油安を受けたインフレ期待の後退を受けて長期金利が低位で推移したこと
- ・ 2014年11月、日銀の積極的な追加緩和策を受けて円安が進行したこと

（下落要因）

- ・ 当作成期初から10月中旬にかけて米国で早期利上げ観測が高まったこと
- ・ 2014年12月から当作成期末にかけて投資家がリスク回避姿勢を強め、トルコリラに対して円高が進行したこと

■運用概況

運用の概要

当ファンドは、主として、「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（TRYクラス）」及び「BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）」に対する投資を行いました。下記は高位の組入を行った「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（TRYクラス）」の概況です。

国別配分

国別の投資配分は、当作成期間を通じて米国が最大となり、概ね50%強程度の配分比率となりました。次いで、日本・豪州・シンガポール・フランスなどが配分比率上位となりました。

業種別配分

業種別配分は、当作成期間を通じて商業施設・オフィス・産業用施設・ヘルスケアが上位を占めました。

なお、為替については、トルコリラ買いの取引を行いました。

■収益分配

当作成期については、下表のとおり、当該期の収益を中心に累計720円の収益分配を行いました。分配に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万円当たり、税込み）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2014年8月21日～ 2014年9月22日	2014年9月23日～ 2014年10月20日	2014年10月21日～ 2014年11月20日	2014年11月21日～ 2014年12月22日	2014年12月23日～ 2015年1月20日	2015年1月21日～ 2015年2月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	120 1.265%	120 1.343%	120 1.144%	120 1.158%	120 1.122%	120 1.172%
当期の収益	102	103	120	100	120	99
当期の収益以外	17	16	—	19	—	20
翌期繰越分配対象額	4,694	4,682	5,552	5,534	5,762	5,743

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

当ファンドでは、引き続き安定的な分配金原資の獲得と信託財産の中長期的な成長を目的とし、「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（TRYクラス）」を高位に組み入れた運用を行います。

「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（TRYクラス）」の実質的な運用は、センタースクエア・インベストメント・マネジメントに委託し、主として世界各国のリートに投資を行い、為替については、トルコリラ買いの取引を行ってまいります。

リート組入れ銘柄の選定においては、センタースクエア・インベストメント・マネジメントにおいて、投資国の経済情勢を判断した上で国別の配分比率を決定し、個別銘柄の経営方針・財務状況・バリュエーションなど多くの観点について詳細な分析を行い、ポートフォリオを構築してまいります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1万口当たりの費用明細

(2014年8月21日～2015年2月20日)

項 目	第35期～第40期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 50	% 0.506	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(16)	(0.169)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.321)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	28	0.277	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(25)	(0.252)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(3)	(0.025)	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
合 計	78	0.783	
作成期間の平均基準価額は、9,962円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2014年8月21日～2015年2月20日)

投資信託証券

銘 柄	第35期～第40期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
国内	口	千円	口	千円
BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）	—	—	1,357,733	1,360
外国	1,111,711	1,030	144,260,365	141,190
合 計	1,111,711	1,030	145,618,098	142,550

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2014年8月21日～2015年2月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年2月20日現在)

投資信託証券

銘	柄	第34期末		第40期末		
		口数	口数	評価額	比率	
BNYメロン・マネーボートフォリオ・ファンド(適格機関投資家専用)		2,426,852	1,069,119	1,070	1.0	
BNYメロン・グローバルREIT・ファンド(TRYクラス)		236,965,933	93,817,279	97,119	94.9	
合	計	口数・金額	239,392,785	94,886,398	98,190	
		銘柄数<比率>	2	2	<95.9%>	

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○投資信託財産の構成

(2015年2月20日現在)

項	目	第40期末	
		評価額	比率
投資信託受益証券		千円 98,190	% 94.6
コール・ローン等、その他		5,558	5.4
投資信託財産総額		103,748	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第35期末	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末
	2014年9月22日現在	2014年10月20日現在	2014年11月20日現在	2014年12月22日現在	2015年1月20日現在	2015年2月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	181,740,902	127,072,352	132,392,648	121,089,167	112,120,468	103,748,194
コール・ローン等	4,665,898	3,078,743	3,074,623	4,112,637	2,893,537	1,947,718
投資信託受益証券(評価額)	172,465,002	123,993,608	128,458,024	115,036,529	109,226,930	98,190,476
未収入金	4,610,000	—	860,000	1,940,000	—	3,610,000
未収利息	2	1	1	1	1	—
(B) 負債	6,373,262	2,184,608	2,325,561	2,774,965	1,506,771	1,393,139
未払収益分配金	2,246,524	1,699,756	1,505,544	1,385,617	1,254,750	1,213,571
未払解約金	3,861,449	302,401	638,376	1,208,354	92,843	20,256
未払信託報酬	191,980	113,366	112,599	111,985	91,277	91,409
その他未払費用	73,309	69,085	69,042	69,009	67,901	67,903
(C) 純資産総額(A-B)	175,367,640	124,887,744	130,067,087	118,314,202	110,613,697	102,355,055
元本	187,210,352	141,646,378	125,462,010	115,468,096	104,562,581	101,130,965
次期繰越損益金	△ 11,842,712	△ 16,758,634	4,605,077	2,846,106	6,051,116	1,224,090
(D) 受益権総口数	187,210,352口	141,646,378口	125,462,010口	115,468,096口	104,562,581口	101,130,965口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,367円	8,817円	10,367円	10,246円	10,579円	10,121円

(注1) 当ファンドの第35期首元本額は256,920,157円、第35～40期中追加設定元本額は4,503,987円、第35～40期中一部解約元本額は160,293,179円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第35期0.9367円、第36期0.8817円、第37期1.0367円、第38期1.0246円、第39期1.0579円、第40期1.0121円です。

○ 損 益 の 状 況

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2014年8月21日～ 2014年9月22日	2014年9月23日～ 2014年10月20日	2014年10月21日～ 2014年11月20日	2014年11月21日～ 2014年12月22日	2014年12月23日～ 2015年1月20日	2015年1月21日～ 2015年2月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	2,184,769	1,649,493	1,454,071	1,339,116	1,200,220	1,163,268
受取配当金	2,184,695	1,649,432	1,454,057	1,339,099	1,200,208	1,163,264
受取利息	74	61	14	17	12	4
(B) 有価証券売買損益	△ 1,035,678	△ 7,611,536	19,635,432	△ 1,183,111	3,641,856	△ 4,418,695
売買益	1,568,768	1,099,823	21,958,600	250,463	4,237,055	75,894
売買損	△ 2,604,446	△ 8,711,359	△ 2,323,168	△ 1,433,574	△ 595,199	△ 4,494,589
(C) 信託報酬等	△ 265,289	△ 182,451	△ 181,641	△ 180,994	△ 159,178	△ 159,312
(D) 当期損益金 (A + B + C)	883,802	△ 6,144,494	20,907,862	△ 24,989	4,682,898	△ 3,414,739
(E) 前期繰越損益金	1,322,427	33,872	△ 6,877,203	11,507,666	9,080,006	12,051,440
(F) 追加信託差損益金	△ 11,802,417	△ 8,948,256	△ 7,920,038	△ 7,250,954	△ 6,457,038	△ 6,199,040
(配当等相当額)	(85,230,603)	(64,498,841)	(57,140,676)	(52,625,445)	(47,751,091)	(46,239,196)
(売買損益相当額)	(△97,033,020)	(△73,447,097)	(△65,060,714)	(△59,876,399)	(△54,208,129)	(△52,438,236)
(G) 計 (D + E + F)	△ 9,596,188	△ 15,058,878	6,110,621	4,231,723	7,305,866	2,437,661
(H) 収益分配金	△ 2,246,524	△ 1,699,756	△ 1,505,544	△ 1,385,617	△ 1,254,750	△ 1,213,571
次期繰越損益金 (G + H)	△ 11,842,712	△ 16,758,634	4,605,077	2,846,106	6,051,116	1,224,090
追加信託差損益金	△ 11,802,417	△ 8,948,256	△ 7,920,038	△ 7,250,954	△ 6,457,038	△ 6,199,040
(配当等相当額)	(85,230,603)	(64,498,841)	(57,140,676)	(52,625,445)	(47,751,091)	(46,239,196)
(売買損益相当額)	(△97,033,020)	(△73,447,097)	(△65,060,714)	(△59,876,399)	(△54,208,129)	(△52,438,236)
分配準備積立金	2,657,296	1,831,875	12,525,115	11,280,171	12,508,154	11,841,825
繰越損益金	△ 2,697,591	△ 9,642,253	—	△ 1,183,111	—	△ 4,418,695

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

第35期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,919,480円)、信託約款に規定する収益調整金 (85,230,603円) および分配準備積立金 (2,984,340円) より分配対象収益は90,134,423円 (10,000口当たり4,814円) であり、うち2,246,524円 (10,000口当たり120円) を分配金額としております。

第36期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,467,042円)、信託約款に規定する収益調整金 (64,498,841円) および分配準備積立金 (2,064,589円) より分配対象収益は68,030,472円 (10,000口当たり4,802円) であり、うち1,699,756円 (10,000口当たり120円) を分配金額としております。

第37期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,441,556円)、費用控除後の有価証券売買等損益額 (10,972,621円)、信託約款に規定する収益調整金 (57,140,676円) および分配準備積立金 (1,616,482円) より分配対象収益は71,171,335円 (10,000口当たり5,672円) であり、うち1,505,544円 (10,000口当たり120円) を分配金額としております。

第38期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,158,122円)、信託約款に規定する収益調整金 (52,625,445円) および分配準備積立金 (11,507,666円) より分配対象収益は65,291,233円 (10,000口当たり5,654円) であり、うち1,385,617円 (10,000口当たり120円) を分配金額としております。

第39期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,160,760円)、費用控除後の有価証券売買等損益額 (2,460,310円)、信託約款に規定する収益調整金 (47,751,091円) および分配準備積立金 (10,141,834円) より分配対象収益は61,513,995円 (10,000口当たり5,882円) であり、うち1,254,750円 (10,000口当たり120円) を分配金額としております。

第40期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,003,956円)、信託約款に規定する収益調整金 (46,239,196円) および分配準備積立金 (12,051,440円) より分配対象収益は59,294,592円 (10,000口当たり5,863円) であり、うち1,213,571円 (10,000口当たり120円) を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
1 万口当たり分配金（税込み）	120円	120円	120円	120円	120円	120円

◇分配金をお支払いする場合
分配金は原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始します。

◇分配金を再投資する場合
お取り扱い分配金は、各決算日の基準価額に基づいて、税引後無手数料でみなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

●約款変更のお知らせ

2014年12月1日付にて下記の約款変更を行いました。

- ・信託契約の解約ならびに信託約款の重大な変更にかかる書面決議の成立要件に関する変更。
- ・信託契約の解約ならびに信託約款の重大な変更にかかる書面決議に反対した受益者について受益権買取請求の不適用の条項を新設。
- ・運用報告書に記載すべき事項の提供に関する条項を新設。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 額 (分配落)	価 額			投 資 信 託 純 資 産 証 組 入 比 率 総 額	中 率	百 万 円
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落			
11期(2012年9月20日)	円 10,287		円 100		% 0.2	% 99.2	104
12期(2012年10月22日)	10,216		100		0.3	98.6	172
13期(2012年11月20日)	9,914		100		△ 2.0	98.5	192
14期(2012年12月20日)	10,511		100		7.0	98.6	168
15期(2013年1月21日)	11,516		100		10.5	98.6	142
16期(2013年2月20日)	12,060		100		5.6	98.5	162
17期(2013年3月21日)	11,346		1,100		3.2	98.2	164
18期(2013年4月22日)	12,299		120		9.5	94.4	183
19期(2013年5月20日)	13,031		120		6.9	98.5	213
20期(2013年6月20日)	10,297		500		△ 17.1	98.8	180
21期(2013年7月22日)	10,713		120		5.2	96.2	197
22期(2013年8月20日)	9,441		120		△ 10.8	98.4	169
23期(2013年9月20日)	9,160		120		△ 1.7	98.6	183
24期(2013年10月21日)	9,056		120		0.2	98.8	185
25期(2013年11月20日)	8,870		120		△ 0.7	99.0	163
26期(2013年12月20日)	8,435		120		△ 3.6	98.5	164
27期(2014年1月20日)	8,505		120		2.3	99.1	440
28期(2014年2月20日)	8,657		120		3.2	98.6	415
29期(2014年3月20日)	8,917		120		4.4	98.7	200
30期(2014年4月21日)	9,022		120		2.5	98.6	256
31期(2014年5月20日)	9,022		120		1.3	98.8	297
32期(2014年6月20日)	8,680		120		△ 2.5	98.4	237
33期(2014年7月22日)	8,987		120		4.9	99.0	254
34期(2014年8月20日)	8,910		120		0.5	98.8	145
35期(2014年9月22日)	8,861		120		0.8	98.3	129
36期(2014年10月20日)	8,355		120		△ 4.4	98.6	107
37期(2014年11月20日)	9,653		120		17.0	99.0	115
38期(2014年12月22日)	9,703		120		1.8	98.6	102
39期(2015年1月20日)	9,840		120		2.6	98.7	105
40期(2015年2月20日)	9,798		120		0.8	98.0	113

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

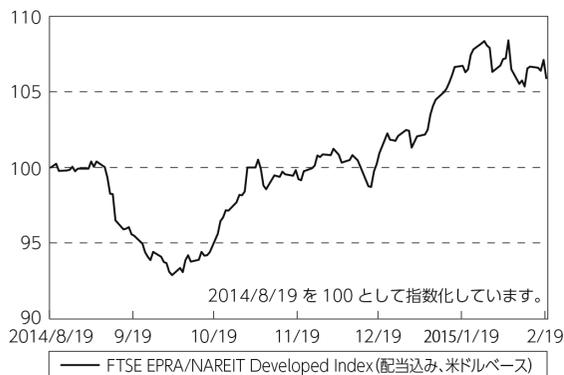
決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証 組 入 比 率
			騰 落 率	騰 落 率	
第35期	(期 首) 2014年8月20日	円 8,910	% —	% 98.8	
	8月末	9,025	1.3	93.5	
	(期 末) 2014年9月22日	8,981	0.8	98.3	
第36期	(期 首) 2014年9月22日	8,861	—	98.3	
	9月末	8,694	△ 1.9	98.6	
	(期 末) 2014年10月20日	8,475	△ 4.4	98.6	
第37期	(期 首) 2014年10月20日	8,355	—	98.6	
	10月末	8,935	6.9	99.0	
	(期 末) 2014年11月20日	9,773	17.0	99.0	
第38期	(期 首) 2014年11月20日	9,653	—	99.0	
	11月末	9,742	0.9	98.8	
	(期 末) 2014年12月22日	9,823	1.8	98.6	
第39期	(期 首) 2014年12月22日	9,703	—	98.6	
	12月末	9,958	2.6	99.0	
	(期 末) 2015年1月20日	9,960	2.6	98.7	
第40期	(期 首) 2015年1月20日	9,840	—	98.7	
	1月末	10,182	3.5	98.9	
	(期 末) 2015年2月20日	9,918	0.8	98.0	

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定していません。

■市場概況

グローバルリート市場の推移



為替の推移（インドネシアルピア/円）



<グローバルリート市場>

当作成期、グローバルリート市場は堅調な推移となりました。代表的な指数であるFTSE EPRA/NAREIT Developed Index（配当込み、米ドルベース）の当期の騰落率は5.9%となりました。

当作成期初から10月中旬にかけてグローバルリート市場は軟調に推移しました。米連邦公開市場委員会（FOMC）における政策金利予測が上方修正されて早期利上げ観測が高まったことに加え、香港での民主派による抗議デモが大規模化したことや、エボラ出血熱の感染拡大が嫌気されたことなどから投資家のリスク回避傾向が強まりました。

しかし、その後は欧州中央銀行（ECB）の量的金融緩和を受けた欧州市場が相場を牽引しました。米国市場は良好な経済指標や原油安を背景とする長期金利の低下により堅調に推移し、豪州市場では住宅許可件数が予想を上回る伸びとなったことが好感されました。日本市場でも、1月にインフレ期待の後退を受けて長期金利が上昇し一時下落する局面がありましたが、日銀の追加緩和や消費税再引き上げ延期などを背景に底堅く推移しました。

<外国為替市場>

当作成期の為替市場は、好調な米国経済を背景に米ドルが堅調に推移した一方、10月末に日銀が積極的な追加緩和策を発表したことなどから円安の流れが強まり、12月上旬には一時1米ドル＝120円を超える水準に達しました。しかしながら、その後は原油安の進行を受けてロシアルーブルが急落するなど金融市場がリスクオフ傾向を強めたことから、期末にかけて円高インドネシアルピア安となりました。

■基準価額の推移

基準価額は、当作成期初の8,910円から当作成期末には9,798円となりました。期中の分配金（税込み）累計720円を加え、基準価額は1,608円上昇し、期中騰落率（分配金再投資ベース）は18.7%となりました。

■基準価額の主な変動要因

（上昇要因）

- ・ ECBの積極的な緩和姿勢や、原油安を受けたインフレ期待の後退を受けて長期金利が低位で推移したこと
- ・ 2014年11月、日銀の積極的な追加緩和策を受けて円安が進行したこと

（下落要因）

- ・ 当作成期初から10月中旬にかけて米国で早期利上げ観測が高まったこと
- ・ 2014年12月から当作成期末にかけて投資家がリスク回避姿勢を強め、インドネシアルピアに対して円高が進行したこと

■運用概況

運用の概要

当ファンドは、主として、「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（IDRクラス）」及び「BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）」に対する投資を行いました。下記は高位の組入を行った「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（IDRクラス）」の概況です。

国別配分

国別の投資配分は、当作成期間を通じて米国が最大となり、概ね50%強程度の配分比率となりました。次いで、日本・豪州・シンガポール・フランスなどが配分比率上位となりました。

業種別配分

業種別配分は、当作成期間を通じて商業施設・オフィス・産業用施設・ヘルスケアが上位を占めました。

なお、為替については、インドネシアルピア買いの取引を行いました。

■収益分配

当作成期については、下表のとおり、当該期の収益を中心に累計720円の収益分配を行いました。分配に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2014年8月21日～ 2014年9月22日	2014年9月23日～ 2014年10月20日	2014年10月21日～ 2014年11月20日	2014年11月21日～ 2014年12月22日	2014年12月23日～ 2015年1月20日	2015年1月21日～ 2015年2月20日
当期分配金	120	120	120	120	120	120
（対基準価額比率）	1.336%	1.416%	1.228%	1.222%	1.205%	1.210%
当期の収益	101	102	114	120	120	98
当期の収益以外	18	17	5	—	—	21
翌期繰越分配対象額	3,254	3,238	3,936	3,986	4,117	4,096

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

当ファンドでは、引き続き安定的な分配金原資の獲得と信託財産の中長期的な成長を目的とし、「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（IDRクラス）」を高位に組み入れた運用を行います。

「BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（IDRクラス）」の実質的な運用は、センタースクエア・インベストメント・マネジメントに委託し、主として世界各国のリートに投資を行い、為替については、インドネシアルピア買いの取引を行ってまいります。

リート組入れ銘柄の選定においては、センタースクエア・インベストメント・マネジメントにおいて、投資国の経済情勢を判断した上で国別の配分比率を決定し、個別銘柄の経営方針・財務状況・バリュエーションなど多くの観点について詳細な分析を行い、ポートフォリオを構築してまいります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年 8 月21日～2015年 2 月20日)

項 目	第35期～第40期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(15)	(0.164)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(31)	(0.325)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	32	0.338	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(29)	(0.311)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(2)	(0.026)	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
合 計	80	0.844	
作成期間の平均基準価額は、9,422円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2014年 8 月21日～2015年 2 月20日)

投資信託証券

銘	柄	第35期～第40期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）	口	千円	口	千円
		—	—	379,364	380
外国	BNYメロン・グローバルREIT・ファンド（IDRクラス）	11,776,090	12,130	59,854,475	56,340
	合 計	11,776,090	12,130	60,233,839	56,720

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2014年8月21日～2015年2月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年2月20日現在)

投資信託証券

銘	柄	第34期末		第40期末	
		口数	口数	評価額	比率
BNYメロン・マネーボートフォリオ・ファンド(適格機関投資家専用)		1,419,969	1,040,605	1,042	0.9
BNYメロン・グローバルREIT・ファンド(IDRクラス)		156,729,675	108,651,290	110,042	97.1
合	計	158,149,644	109,691,895	111,084	
	口数・金額 銘柄数<比率>	2	2	<98.0%>	

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○投資信託財産の構成

(2015年2月20日現在)

項	目	第40期末	
		評価額	比率
投資信託受益証券		111,084	96.5
コール・ローン等、その他		3,983	3.5
投資信託財産総額		115,067	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第35期末	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末
	2014年9月22日現在	2014年10月20日現在	2014年11月20日現在	2014年12月22日現在	2015年1月20日現在	2015年2月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	131,925,911	108,943,296	122,235,452	103,948,668	107,197,928	115,067,559
コール・ローン等	3,043,428	3,212,670	2,853,011	2,892,610	2,852,160	3,983,263
投資信託受益証券(評価額)	127,762,482	105,730,625	114,792,440	101,056,057	104,345,767	111,084,295
未収入金	1,120,000	—	4,590,000	—	—	—
未収利息	1	1	1	1	1	1
(B) 負債	1,963,723	1,697,934	6,297,262	1,452,618	1,497,631	1,687,486
未払収益分配金	1,759,943	1,540,335	1,441,314	1,267,547	1,289,019	1,388,616
未払解約金	7,570	—	4,688,547	19,152	57,123	133,035
未払信託報酬	126,423	89,781	99,085	97,677	83,982	97,597
その他未払費用	69,787	67,818	68,316	68,242	67,507	68,238
(C) 純資産総額(A-B)	129,962,188	107,245,362	115,938,190	102,496,050	105,700,297	113,380,073
元本	146,661,992	128,361,272	120,109,512	105,628,990	107,418,268	115,718,043
次期繰越損益金	△ 16,699,804	△ 21,115,910	△ 4,171,322	△ 3,132,940	△ 1,717,971	△ 2,337,970
(D) 受益権総口数	146,661,992口	128,361,272口	120,109,512口	105,628,990口	107,418,268口	115,718,043口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,861円	8,355円	9,653円	9,703円	9,840円	9,798円

(注1) 当ファンドの第35期首元本額は163,232,121円、第35～40期中追加設定元本額は20,224,640円、第35～40期中一部解約元本額は67,738,718円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第35期0.8861円、第36期0.8355円、第37期0.9653円、第38期0.9703円、第39期0.9840円、第40期0.9798円です。

○損益の状況

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2014年8月21日～ 2014年9月22日	2014年9月23日～ 2014年10月20日	2014年10月21日～ 2014年11月20日	2014年11月21日～ 2014年12月22日	2014年12月23日～ 2015年1月20日	2015年1月21日～ 2015年2月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	1,690,517	1,470,903	1,390,048	1,203,471	1,213,376	1,302,481
受取配当金	1,690,485	1,470,875	1,390,039	1,203,442	1,213,368	1,302,473
受取利息	32	28	9	29	8	8
(B) 有価証券売買損益	△ 462,929	△ 6,240,176	15,777,255	730,209	1,629,552	△ 674,119
売買益	868,590	271,593	17,121,314	1,030,113	1,659,743	284,399
売買損	△ 1,331,519	△ 6,511,769	△ 1,344,059	△ 299,904	△ 30,191	△ 958,518
(C) 信託報酬等	△ 196,210	△ 157,599	△ 167,401	△ 165,919	△ 151,489	△ 165,835
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	1,031,378	△ 4,926,872	16,999,902	1,767,761	2,691,439	462,527
(E) 前期繰越損益金	△ 1,247,475	△ 1,463,449	△ 7,178,067	7,323,872	7,730,955	8,892,683
(F) 追加信託差損益金	△ 14,723,764	△ 13,185,254	△ 12,551,843	△ 10,957,026	△ 10,851,346	△ 10,304,564
(配当等相当額)	(47,997,788)	(41,780,947)	(38,894,855)	(34,280,163)	(35,098,978)	(38,766,815)
(売買損益相当額)	(△62,721,552)	(△54,966,201)	(△51,446,698)	(△45,237,189)	(△45,950,324)	(△49,071,379)
(G) 計(D+E+F)	△ 14,939,861	△ 19,575,575	△ 2,730,008	△ 1,865,393	△ 428,952	△ 949,354
(H) 収益分配金	△ 1,759,943	△ 1,540,335	△ 1,441,314	△ 1,267,547	△ 1,289,019	△ 1,388,616
次期繰越損益金(G+H)	△ 16,699,804	△ 21,115,910	△ 4,171,322	△ 3,132,940	△ 1,717,971	△ 2,337,970
追加信託差損益金	△ 14,989,368	△ 13,399,489	△ 12,616,582	△ 10,957,026	△ 10,851,346	△ 10,304,564
(配当等相当額)	(47,732,184)	(41,566,712)	(38,830,116)	(34,280,163)	(35,098,978)	(38,766,815)
(売買損益相当額)	(△62,721,552)	(△54,966,201)	(△51,446,698)	(△45,237,189)	(△45,950,324)	(△49,071,379)
分配準備積立金	181	185	8,445,260	7,824,086	9,133,375	8,640,713
繰越損益金	△ 1,710,617	△ 7,716,606	—	—	—	△ 674,119

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

第35期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,494,307円)、信託約款に規定する収益調整金(47,997,788円)および分配準備積立金(213円)より分配対象収益は49,492,308円(10,000口当たり3,374円)であり、うち1,759,943円(10,000口当たり120円)を分配金額としております。

第36期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,313,304円)、信託約款に規定する収益調整金(41,780,947円)および分配準備積立金(12,981円)より分配対象収益は43,107,232円(10,000口当たり3,358円)であり、うち1,540,335円(10,000口当たり120円)を分配金額としております。

第37期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,376,489円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(8,445,174円)、信託約款に規定する収益調整金(38,894,855円)および分配準備積立金(172円)より分配対象収益は48,716,690円(10,000口当たり4,056円)であり、うち1,441,314円(10,000口当たり120円)を分配金額としております。

第38期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,100,203円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(667,558円)、信託約款に規定する収益調整金(34,280,163円)および分配準備積立金(7,323,872円)より分配対象収益は43,371,796円(10,000口当たり4,106円)であり、うち1,267,547円(10,000口当たり120円)を分配金額としております。

第39期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,148,720円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(1,542,719円)、信託約款に規定する収益調整金(35,098,978円)および分配準備積立金(7,730,955円)より分配対象収益は45,521,372円(10,000口当たり4,237円)であり、うち1,289,019円(10,000口当たり120円)を分配金額としております。

第40期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,136,646円)、信託約款に規定する収益調整金(38,766,815円)および分配準備積立金(8,892,683円)より分配対象収益は48,796,144円(10,000口当たり4,216円)であり、うち1,388,616円(10,000口当たり120円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
1 万口当たり分配金（税込み）	120円	120円	120円	120円	120円	120円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始します。

◇分配金を再投資する場合

お手取り分配金は、各決算日の基準価額に基づいて、税引後無手数料でみなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

●約款変更のお知らせ

2014年12月1日付にて下記の約款変更を行いました。

- ・信託契約の解約ならびに信託約款の重大な変更にかかる書面決議の成立要件に関する変更。
- ・信託契約の解約ならびに信託約款の重大な変更にかかる書面決議に反対した受益者について受益権買取請求の不適用の条項を新設。
- ・運用報告書に記載すべき事項の提供に関する条項を新設。

<BNYメロン・グローバルREIT・ファンドの状況>

BNYメロン・グローバルREIT・ファンドは、BNYメロン・グローバルリート通貨選択型ファンド（毎月分配型）の各コースが投資対象とする外国籍投資信託です。

当ファンドの決算は、年1回（毎年5月末）であり、本書作成時点で開示されている直近の決算（2014年5月末）の状況をご報告いたします。

■費用の明細

損益計算書および純資産変動計算書 (2014年5月31日終了会計年度)

米ドル

収益	
受取配当金	533,542.68
信託財産留保額	69,750.63
銀行利子	64.47
収益合計	603,357.78
費用	
取引報酬	96,313.10
管理報酬	96,147.60
専門家費用	26,805.43
印刷公告費	19,698.51
受託者報酬	9,972.98
管理事務代行報酬	8,233.86
創立費	5,549.16
保管報酬	5,483.62
保護預り報酬	2,274.69
法律費用	1,746.95
その他費用	6,024.61
費用合計	278,250.51
投資純利益	325,107.27
以下にかかる実現純損益	
投資有価証券にかかる利益	580,243.74
為替予約取引にかかる損失	(34,627.57)
為替取引にかかる損失	(458,584.06)
当期実現純利益	412,139.38
以下にかかる未実現評価損益の純変動	
投資有価証券にかかる評価益	696,842.96
為替予約取引にかかる評価損	173,421.76
運用による純資産の純増加額	1,282,404.10
資本の変動	
受益証券発行額	41,045,406.28
受益証券買戻額	(34,227,439.65)
資本の純変動額	6,817,966.63
分配	(2,178,081.25)
当期首純資産額	7,239,009.50
当期末純資産額	13,161,298.98

(注) 上記はすべてのクラスを含んだ内容です。

■組入有価証券の明細（2014年5月31日現在・監査済）

通貨	銘柄	数量	評価額(米ドルベース)	組入比率(%)
豪ドル	WESTFIELD GROUP	25,120	250,304.96	1.90
	WESTFIELD RETAIL TRUST	83,770	248,854.36	1.89
	MIRVAC GROUP	122,600	206,649.85	1.57
	DEXUS PROPERTY GROUP	126,090	130,924.69	0.99
	CHARTER HALL RETAIL REIT	27,180	101,245.44	0.77
	FEDERATION CENTRES	42,520	99,783.76	0.76
	STOCKLAND	18,540	67,334.93	0.51
	INVESTA OFFICE FUND	21,430	66,854.87	0.51
カナダドル	DREAM OFFICE REAL ESTATE INVESTMENT	10,750	290,709.66	2.21
	CALLOWAY REAL ESTATE INVEST TRUST	7,780	194,302.55	1.48
ユーロ	UNIBAIL-RODAMCO	1,190	329,772.70	2.51
	EUROCOMMERCIAL PROPERTIES NV	3,550	170,058.87	1.29
	CORIO NV	3,310	164,125.90	1.25
	MERCIALYS SA	7,360	159,631.96	1.21
	WERELDHAVE NV	1,530	136,256.84	1.04
	ICADE	1,370	133,307.88	1.01
	ALSTRIA OFFICE REIT-AG	9,750	131,645.57	1.00
	VASTNED RETAIL NV	1,320	67,194.77	0.51
英ポンド	COFINIMMO	540	64,672.11	0.49
	HAMMERSON PLC	23,110	229,621.12	1.74
	LONDONMETRIC PROPERTY PLC	93,710	229,085.93	1.74
	LAND SECURITIES GROUP PLC	9,150	162,971.46	1.24
香港ドル	BRITISH LAND CO PLC	5,470	65,623.22	0.50
	FORTUNE REIT	259,000	293,358.23	2.23
	NEW WORLD DEVELOPMENT	20,851	241,889.35	1.84
	LINK REIT	21,200	229,061.37	1.74
	PROSPERITY REIT	100,000	97,225.77	0.74
日本円	KENEDIX OFFICE INVESTMENT	53	277,437.59	2.11
	MITSUI FUDOSAN CO LTD	7,000	221,853.64	1.69
	ORIX JREIT INC	100	133,720.27	1.02
	JAPAN EXCELLENT INC	97	132,190.21	1.00
	JAPAN LOGISTICS FUND INC	58	129,719.49	0.99
	JAPAN RETAIL FD INVESTMENT	47	103,545.15	0.79
	UNITED URBAN INVEST CORP	63	100,980.95	0.77
	GLP J-REIT	94	99,706.72	0.76
	NOMURA REAL ESTATE OFFICE FD	8	37,351.15	0.28
	NOMURA REAL ESTATE MASTER FD	30	34,271.35	0.26
ニュージーランドドル	KIWI INCOME PROPERTY TRUST	97,930	99,765.12	0.76
シンガポールドル	MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST	276,000	316,975.58	2.41
	CAPITACOMMERCIAL TRUST	150,000	202,177.20	1.54
	ASCENDAS REAL ESTATE INVEST TRUST	50,000	98,097.82	0.75
	CDL HOSPITALITY TRUSTS	46,000	63,651.92	0.48
米ドル	SIMON PROPERTY GROUP INC	3,760	621,490.38	4.71
	LIBERTY PROPERTY TRUST	7,720	298,069.20	2.26
	HIGHWOODS PROPERTIES INC	7,300	295,358.00	2.24
	REALTY INCOME CORP	5,990	259,726.40	1.97
	HCP INC	6,210	258,398.10	1.96

	PROLOGIS INC	5,600	231,504.00	1.76
	LEXINGTON REALTY TRUST	20,430	231,267.60	1.76
	SPIRIT REALTY CAPITAL INC	20,360	230,068.00	1.75
	HEALTH CARE REIT INC	3,670	229,998.90	1.75
	MACERICH CO	3,490	229,362.80	1.74
	DUKE REALTY CORP	11,260	198,739.00	1.51
	STAG INDUSTRIAL INC	8,290	198,131.00	1.51
	VORNADO REALTY TRUST	1,860	197,997.00	1.50
	HOSPITALITY PROPERTIES TRUST	6,770	196,330.00	1.49
	AVALONBAY COMMUNITIES INC	1,390	195,100.40	1.48
	BRANDYWINE REALTY TRUST	12,860	195,086.20	1.48
	UDR INC	7,080	194,770.80	1.48
	VENTAS INC	2,930	194,669.20	1.48
	EPR PROPERTIES	3,050	164,486.50	1.25
	RETAIL PROPERTIES OF AMERICA INC-A-	10,970	164,440.30	1.25
	MID AMERICA APARTMENT COMMUNITIES	2,280	163,681.20	1.24
	AMERICAN REALTY CAPITAL PROPERTIES	13,240	163,381.60	1.24
	KIMCO REALTY CORP	5,740	130,814.60	0.99
	BOSTON PROPERTIES INC	1,090	130,233.20	0.99
	WASHINGTON REIT	3,980	101,967.60	0.77
	SENIOR HOUSING PROP TRUST	4,160	99,340.80	0.75
	SOVRAN SELF STORAGE INC	1,280	98,086.40	0.75
	AVIV REIT INC	3,560	98,078.00	0.75
	ESSEX PROPERTY TRUST INC	540	96,946.20	0.74
	EXCEL TRUST INC	5,100	67,728.00	0.51
	CHESAPEAKE LODGING TRUST	2,300	66,677.00	0.51
	OMEGA HEALTHCARE INVESTORS INC	1,800	66,114.00	0.50
	GOVERNMENT PROPERTIES INCOME TRUST	2,600	65,988.00	0.50
	REGENCY CENTERS CORP	1,230	65,669.70	0.50
	SELECT INCOME REIT	2,270	65,307.90	0.50
	DIGITAL REALTY TRUST INC	1,120	64,288.00	0.49
	WASHINGTON PRIME GROUP	1,765	36,359.00	0.28
	HEALTHCARE TRUST OK AMERICA CL A	2,740	33,017.00	0.25
	CBL AND ASSOCIATES PROPERTIES	1,750	32,865.00	0.25
	合 計		13,045,449.26	99.12

(注) 上記は、すべてのクラスを含んだ内容です。

【参考情報】

下記はB N Yメロン・グローバルR E I T・ファンドの2015年2月19日現在の組入有価証券の上位銘柄です。

通貨	銘柄	数量	評価額(米ドルベース)	組入比率(%)
米ドル	SIMON PROPERTY GROUP INC	1,010	196,222.80	4.89
ユーロ	UNIBAIL-RODAMCO	290	83,999.97	2.09
米ドル	LIBERTY PROPERTY TRUST	2,130	83,070.00	2.07
米ドル	VENTAS INC	1,070	83,299.50	2.07
米ドル	STAG INDUSTRIAL INC	3,260	83,130.00	2.07
米ドル	SPIRIT REALTY CAPITAL INC	6,580	83,105.40	2.07
米ドル	HEALTH CARE REIT INC	1,060	82,796.60	2.06
日本円	MITSUMI FUDOSAN CO LTD (08801)	2,800	79,639.42	1.98
米ドル	SENIOR HOUSING PROP TRUST	3,260	73,904.20	1.84
香港ドル	NEW WORLD DEVELOPMENT	61,000	72,895.68	1.82

(注) 上記は、すべてのクラスを含んだ内容です。

<BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）の状況>

主要投資対象であるBNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）の決算は、年1回（毎年1月）です。以下は直近の決算期末である2015年1月19日現在の状況です。

○1万口当たりの費用明細

（2014年1月18日～2015年1月19日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(2)	(0.020)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(1)	(0.007)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.005)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
合 計	3	0.033	
期中の平均基準価額は、10,016円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○組入資産の明細

（2015年1月19日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
BNYメロン・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千口 215,875	千口 231,200	千円 232,194

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2015年1月19日現在）

<BNYメロン・マネーポートフォリオ・マザーファンド>

下記は、BNYメロン・マネーポートフォリオ・マザーファンド全体(232,198千口)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	140,000 (140,000)	140,004 (140,004)	60.0 (60.0)	— (—)	— (—)	— (—)	60.0 (60.0)
合 計	140,000 (140,000)	140,004 (140,004)	60.0 (60.0)	— (—)	— (—)	— (—)	60.0 (60.0)

(注1) ()内は非上場債で内書きです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 単位未満は切り捨てです。

(注4) —印は組み入れなしです。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第495回国庫短期証券	—	140,000	140,004	2015/3/2
小 計		140,000	140,004	
合 計		140,000	140,004	

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨てです。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率			
(設定日)	円		円	%	%	%	百万円
3期(2013年2月20日)	10,011		0	0.0	89.5	—	1
4期(2013年8月20日)	10,014		0	0.0	93.7	—	1
5期(2014年2月20日)	10,017		0	0.0	95.4	—	1
6期(2014年8月20日)	10,015		0	△0.0	74.0	—	9
7期(2015年2月20日)	10,015		0	0.0	59.8	—	1

(注1) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落	率			
(期首)	円		%	%	%	%
2014年8月20日	10,015	—	—	74.0	—	—
8月末	10,015	0.0	109.6	—	—	—
9月末	10,015	0.0	78.2	—	—	—
10月末	10,015	0.0	62.3	—	—	—
11月末	10,015	0.0	89.2	—	—	—
12月末	10,015	0.0	59.7	—	—	—
2015年1月末	10,015	0.0	60.1	—	—	—
(期末)						
2015年2月20日	10,015	0.0	59.8	—	—	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

■市場概況

日本の短期金利は、期中は低位の水準で推移しました。

■基準価額の推移

基準価額は、期初の10,015円から期末には10,015円となりました。

■収益分配

当期の収益分配については、見送りとさせていただきます。分配に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第7期
	2014年8月21日～ 2015年2月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	22

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

引き続き、「B N Yメロン・マネーポートフォリオ・マザーファンド」への投資を通じて、安定した収益の確保を目標として運用を行うことを基本とします。

○1万口当たりの費用明細

(2014年8月21日～2015年2月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 2	% 0.016	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(0)	(0.005)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(1)	(0.005)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.007)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	2	0.017	
期中の平均基準価額は、10,015円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年8月21日～2015年2月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
BNYメロン・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千口 268	千円 269	千口 9,190	千円 9,229

(注) 単位未満は切り捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2014年8月21日～2015年2月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2014年8月21日～2015年2月20日)

期首残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取引の理由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時における取得分を保有しているものです。

○組入資産の明細

(2015年2月20日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
BNYメロン・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千口 9,919	千口 997	千円 1,001

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

○投資信託財産の構成

(2015年2月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
BNYメロン・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千円 1,001	% 100.0
コール・ローン等、その他	0	0.0
投資信託財産総額	1,001	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年2月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,001,834
BNYメロン・マネーボートフォリオ・マザーファンド(評価額)	1,001,434
未収入金	400
(B) 負債	337
未払信託報酬	303
その他未払費用	34
(C) 純資産総額(A - B)	1,001,497
元本	1,000,000
次期繰越損益金	1,497
(D) 受益権総口数	1,000,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,015円

(注1) 当ファンドの期首元本額は9,946,236円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は8,946,236円です。

(注2) 1口当たり純資産額は1.0015円です。

○損益の状況 (2014年8月21日～2015年2月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	310
売買益	1,045
売買損	△ 735
(B) 信託報酬等	△ 337
(C) 当期損益金(A + B)	△ 27
(D) 前期繰越損益金	△ 83
(E) 追加信託差損益金	1,607
(配当等相当額)	(2,218)
(売買損益相当額)	(△ 611)
(F) 計(D + E)	1,497
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F + G)	1,497
追加信託差損益金	1,607
(配当等相当額)	(2,218)
(売買損益相当額)	(△ 611)
分配準備積立金	1
繰越損益金	△ 111

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

計算期間末における信託約款に規定する収益調整金(2,218円)および分配準備積立金(1円)より分配対象収益は2,219円(10,000口当たり22円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

当期の分配金はありません。

●約款変更のお知らせ

2014年12月1日付にて下記の約款変更を行いました。

- ・デリバティブ取引等にかかる投資制限に関する条項を新設。
- ・信託契約の解約ならびに信託約款の重大な変更にかかる書面決議の成立要件に関する変更。
- ・信託契約の解約ならびに信託約款の重大な変更にかかる書面決議に反対した受益者について受益権買取請求の不適用の条項を新設。
- ・運用報告書に記載すべき事項の提供に関する条項を新設。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2015年2月20日現在）

＜BNYメロン・マネーポートフォリオ・マザーファンド＞

下記は、BNYメロン・マネーポートフォリオ・マザーファンド全体(232,914千口)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	140,000	140,001	59.9	—	—	—	59.9
	(140,000)	(140,001)	(59.9)	(—)	(—)	(—)	(59.9)
合 計	140,000	140,001	59.9	—	—	—	59.9
	(140,000)	(140,001)	(59.9)	(—)	(—)	(—)	(59.9)

(注1) ()内は非上場債で内書きです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 単位未満は切り捨てです。

(注4) —印は組み入れなしです。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第495回国庫短期証券	—	140,000	140,001	2015/3/2
小 計		140,000	140,001	
合 計		140,000	140,001	

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨てです。

BNYメロン・マネーポートフォリオ・マザーファンド

第5期（2015年1月19日決算）〔計算期間：2014年1月18日～2015年1月19日〕

法令・諸規則に基づき、マネープールファンドが組入れる当マザーファンドの直前の計算期間にかかる運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を図ることを目指して運用を行うことを基本とします。
主要運用対象	主として本邦通貨表示の公社債等および高格付の外国債券を投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

○設定以来の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期騰落	中率			
(設定日) 2010年1月12日	円		%	%	%	百万円
	10,000	—	—	—	—	100
1期(2011年1月17日)	10,011	0.1	97.4	—	—	307
2期(2012年1月17日)	10,023	0.1	99.0	—	—	302
3期(2013年1月17日)	10,032	0.1	139.1	—	—	100
4期(2014年1月17日)	10,040	0.1	91.9	—	—	217
5期(2015年1月19日)	10,043	0.0	60.0	—	—	233

(注1) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注2) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰 落	率			
(期 首) 2014年 1月17日	円 10,040		% —	% 91.9		% —
1 月末	10,040		0.0	93.2		—
2 月末	10,041		0.0	93.9		—
3 月末	10,041		0.0	94.7		—
4 月末	10,041		0.0	82.3		—
5 月末	10,042		0.0	97.3		—
6 月末	10,042		0.0	78.4		—
7 月末	10,042		0.0	103.9		—
8 月末	10,042		0.0	109.6		—
9 月末	10,043		0.0	78.2		—
10 月末	10,043		0.0	62.2		—
11 月末	10,043		0.0	89.2		—
12 月末	10,043		0.0	59.7		—
(期 末) 2015年 1月19日	10,043		0.0	60.0		—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定していません。

■市場概況

日本の短期金利は期中、低位の水準で推移しました。

■基準価額の推移

基準価額は、期初の10,040円から期末には10,043円となりました。期中騰落率は0.03%となりました。

■今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保を目標として運用を行うことを基本とします。

○1万口当たりの費用明細

(2014年1月18日～2015年1月19日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2014年1月18日～2015年1月19日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 749,964	千円 19,998 (790,000)

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2014年1月18日～2015年1月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年1月19日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当期				期末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	140,000 (140,000)	140,004 (140,004)	60.0 (60.0)	— (—)	— (—)	— (—)	60.0 (60.0)
合計	140,000 (140,000)	140,004 (140,004)	60.0 (60.0)	— (—)	— (—)	— (—)	60.0 (60.0)

(注1) ()内は非上場債で内書きです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 単位未満は切り捨てです。

(注4) 一印は組み入れなしです。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
第495回国庫短期証券	—	140,000	140,004	2015/3/2
小計		140,000	140,004	
合計		140,000	140,004	

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨てです。

○投資信託財産の構成

(2015年1月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 140,004	% 59.9
コール・ローン等、その他	93,626	40.1
投資信託財産総額	233,630	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年1月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	233,630,595
コール・ローン等	93,625,790
公社債(評価額)	140,004,771
未収利息	34
(B) 負債	440,000
未払解約金	440,000
(C) 純資産総額(A-B)	233,190,595
元本	232,198,032
次期繰越損益金	992,563
(D) 受益権総口数	232,198,032口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,043円

(注1) 当ファンドの期首元本額は216,873,268円、期中追加設定元本額は269,390,550円、期中一部解約元本額は254,065,786円です。

(注2) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、B N Yメロン・マネーポートフォリオ・ファンド(適格機関投資家専用)231,200,486円、B N Yメロン・グローバルリート通貨選択型ファンド マネーボールファンド997,546円です。

(注3) 1口当たり純資産額は1.0043円です。

○損益の状況 (2014年1月18日～2015年1月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	58,975
受取利息	58,975
(B) 有価証券売買損益	△ 4,937
売買益	4,342
売買損	△ 9,279
(C) 当期損益金(A+B)	54,038
(D) 前期繰越損益金	863,895
(E) 追加信託差損益金	1,123,280
(F) 解約差損益金	△1,048,650
(G) 計(C+D+E+F)	992,563
次期繰越損益金(G)	992,563

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

●約款変更のお知らせ

2014年12月1日付にて下記の約款変更を行いました。

- ・デリバティブ取引等にかかる投資制限に関する条項を新設。
- ・信託契約の解約ならびに信託約款の重大な変更にかかる書面決議の成立要件に関する変更。
- ・信託契約の解約ならびに信託約款の重大な変更にかかる書面決議に反対した受益者について受益権買取請求の不適用の条項を新設。